

令和 7 年度

第 1 回 足立区政に関する世論調査

(小規模調査)

調査報告書

《人権問題について》

足立区 政策経営部 区政情報課

令和 8 年 3 月発行

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の時期.....	3
3 今回の区政モニター数、一般抽出者数、回答者数.....	3
4 回答者の構成と属性.....	4
5 報告書の見方.....	6
第2章 調査結果の3つのポイント及び今後の取り組み方針.....	7
第3章 調査結果の詳細.....	17
1 日常の中で、人権が守られている社会だと思うか.....	21
2 関心のある人権問題.....	23
3 この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識.....	25
4 自身が人権侵害を受けた経験の有無.....	27
5 自身が受けた人権侵害の内容.....	29
6 人権侵害を受けた時の対応.....	31
7 部落差別（同和問題）の認知.....	33
8 部落差別（同和問題）を初めて知ったきっかけ.....	36
9 部落差別（同和問題）に関して、現在起きていると思う人権問題.....	39
10 現在もなお、部落差別が存在する理由.....	42
11 同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか.....	45
12 インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無.....	47
13 インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄.....	49
14 インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うこと.....	52
15 人権課題の解決に向けて注力すべき区の取り組み.....	55
16 人権問題に関することについてのご意見、ご要望.....	58
17 アンケートの実施が人権課題の把握及び人権問題の解決につながるかの考え.....	59
第4章 使用した調査票.....	61

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

区民の皆さまが日頃感じている人権課題を把握し、今後の人権施策に反映していくことを目的に実施いたしました。

2 調査の時期

令和7年10月27日（月）～令和7年11月26日（水）

3 今回の区政モニター数、一般抽出者数、回答者数

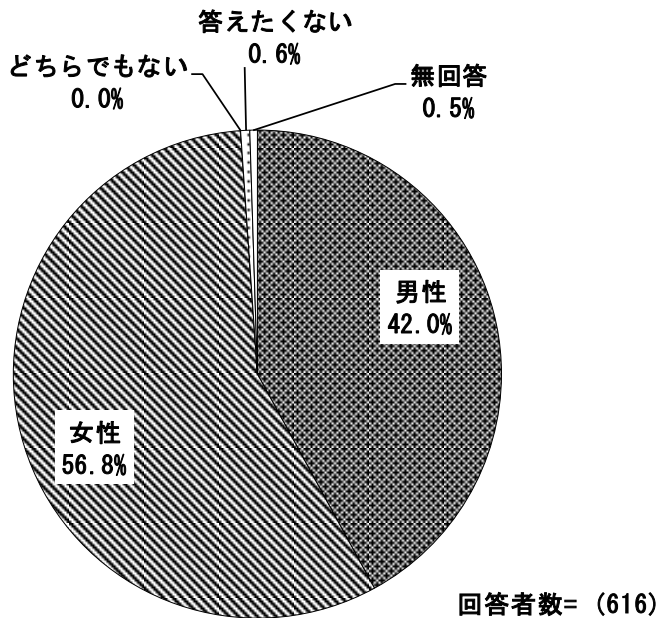
	標本数	回答者数 (回答率)	回答方法	
			郵送回答	インターネット回答
対象者全数	1,194 人	616 人 (51.6%)	346 人 (56.2%)	270 人 (43.8%)
一般抽出者	1,000 人	437 人 (43.7%)	304 人 (69.6%)	133 人 (30.4%)
区政モニター数	194 人	179 人 (92.3%)	42 人 (23.5%)	137 人 (76.5%)

※一般抽出者：足立区在住の18歳以上の個人

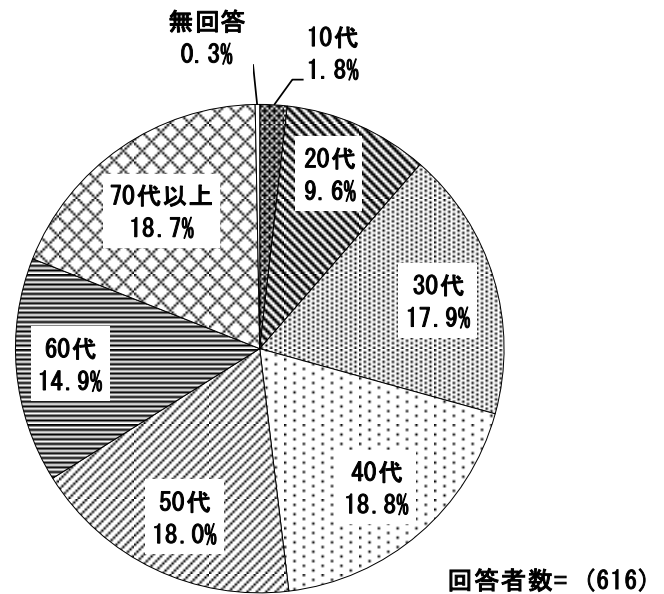
4 回答者の構成と属性

(1) 性別、年代別割合

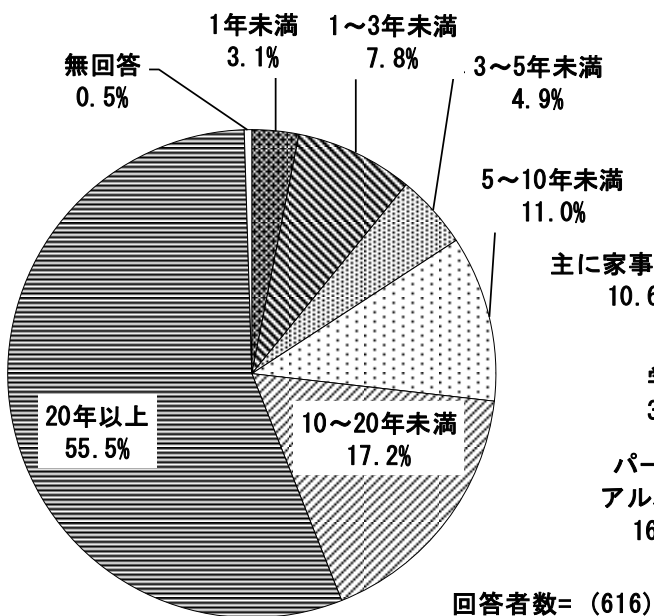
<性別>



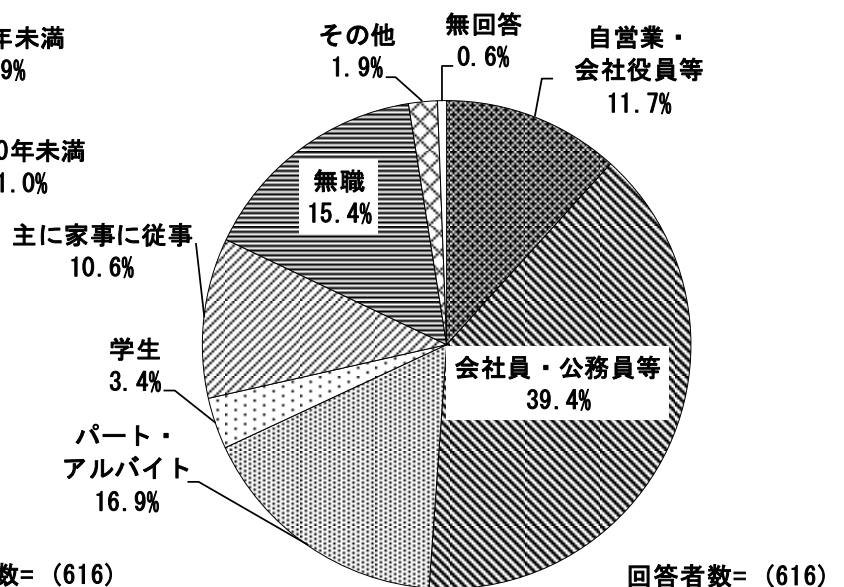
<年代>



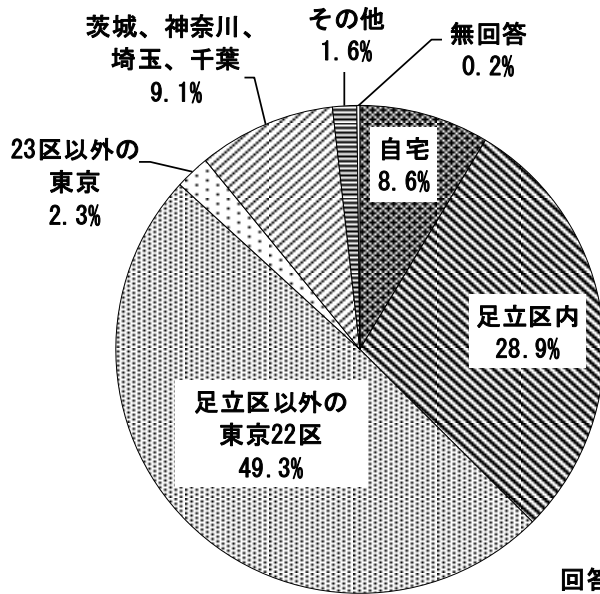
(2) 居住年数



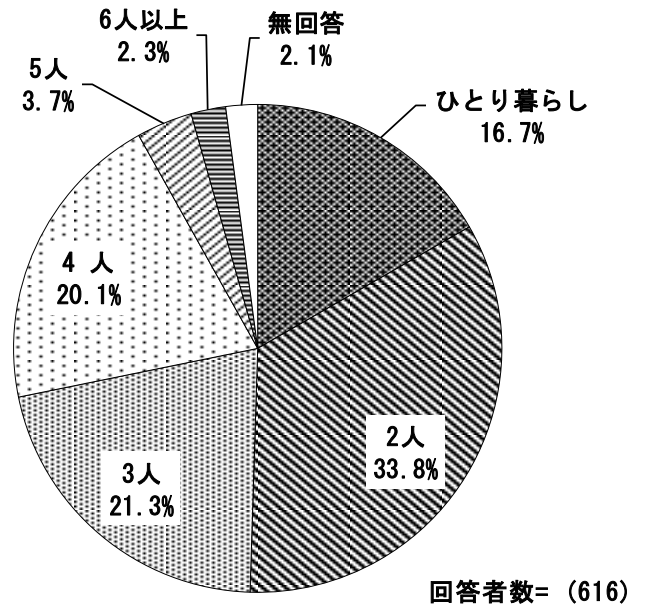
(3) 職業



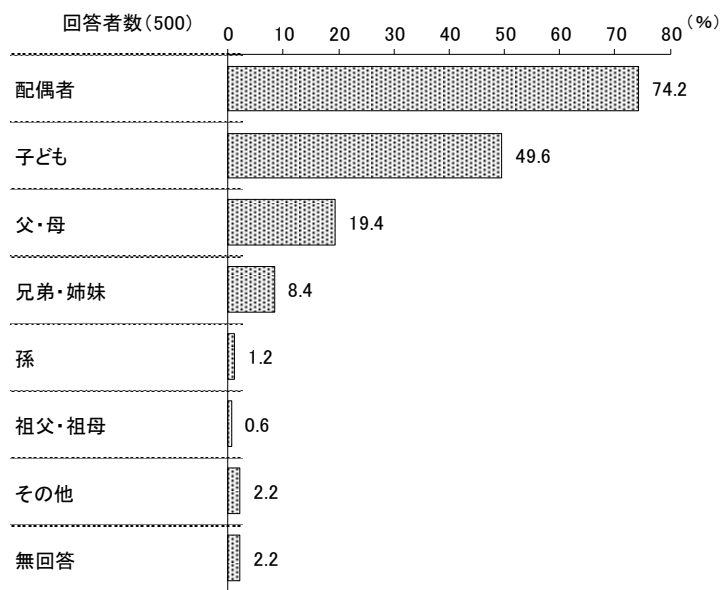
(4) 就労場所（就学場所）



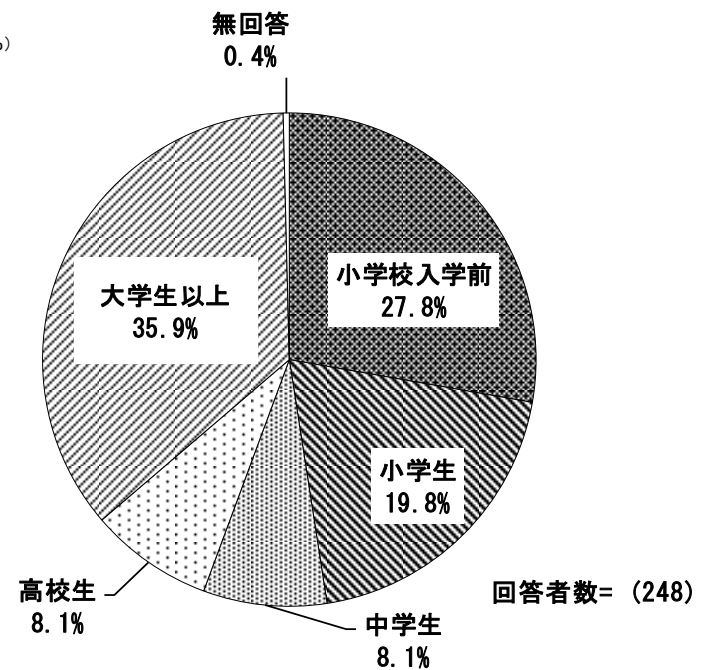
(5) 同居家族の人数



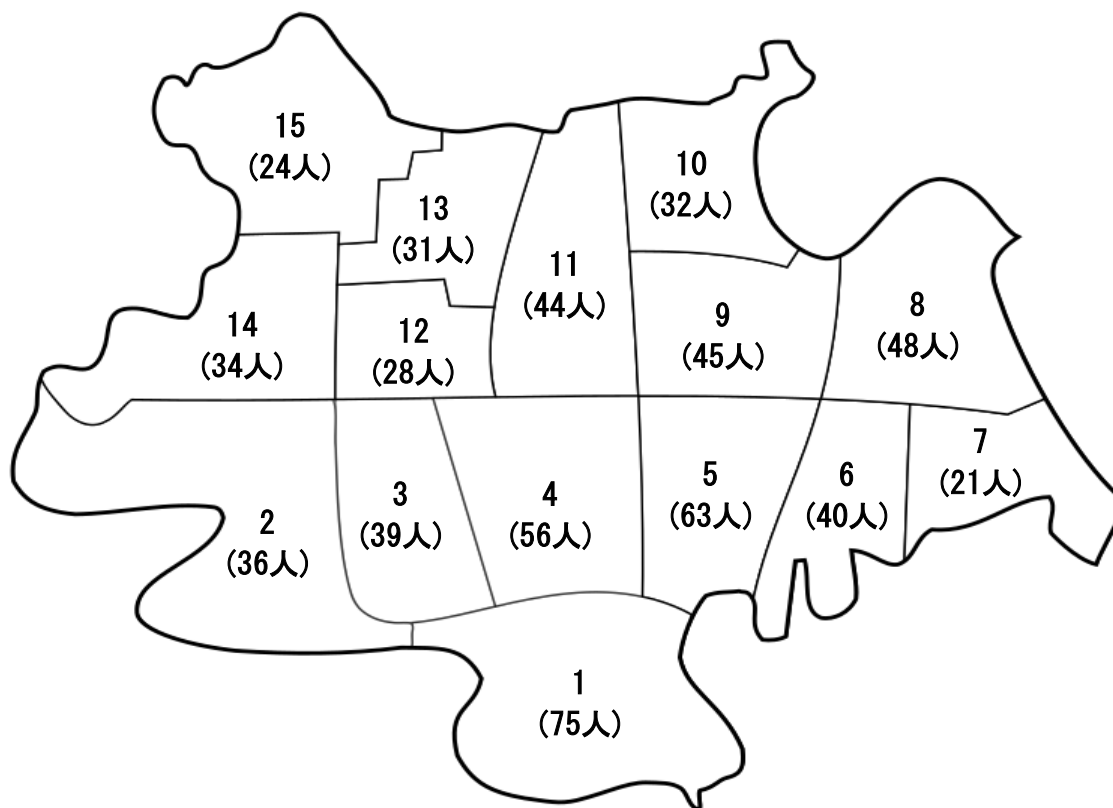
(6) 同居家族



(7) 末子の年代



(8) 地域別人数 (上段：地域番号、下段：人数)



5 報告書の見方

- (1) 回答比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が100.0%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 複数回答の設問は、すべて比率を合計すると100.0%を上回ることがあります。

第2章 調査結果の3つのポイント 及び今後の取り組み方針

《調査結果の3つのポイント》

- (1) 7割以上が日常の中で人権が「守られている」と回答した一方で、約4割が以前に比べて人権が侵害されることが増加傾向にあると感じている
- (2) 人権問題の中で関心があるものとして、「インターネット上の人権侵害」「女性」「障がいのある人」と回答した人は4割を超えた
- (3) 人権課題の解決に向け、約6割が「学校での人権教育の充実」に力を入れてほしいと回答した

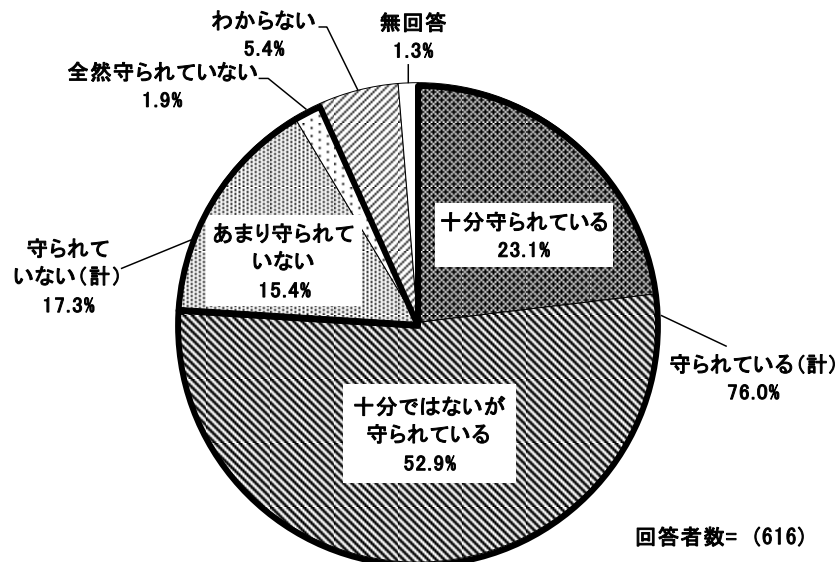
1 調査結果の3つのポイント

(1) 7割以上が日常の中で人権が「守られている」と回答した一方で、約4割が以前に比べて人権が侵害されることが増加傾向にあると感じている

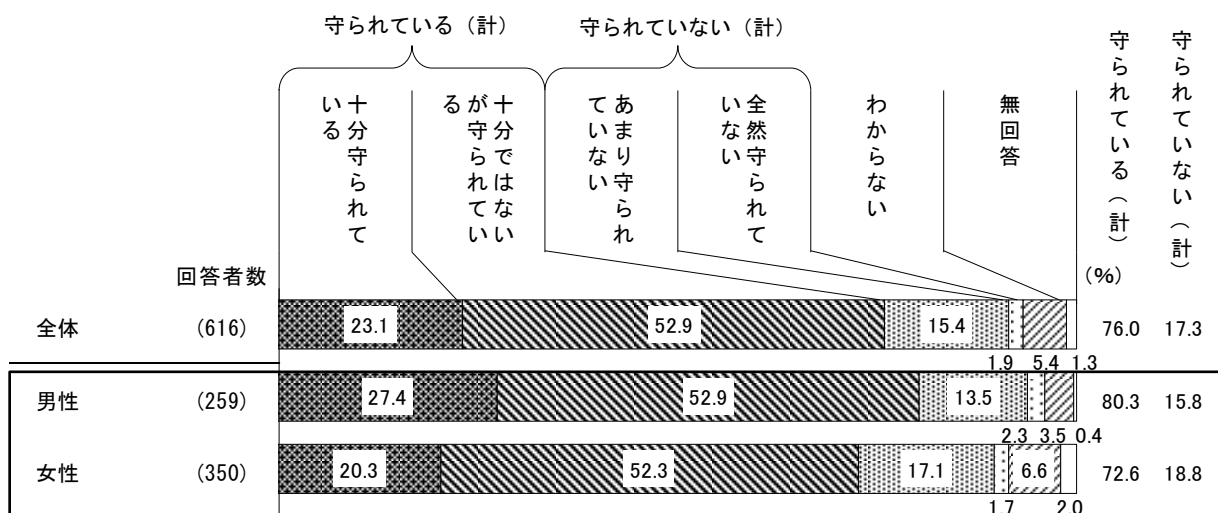
ア 「あなたは、日常の中で、人権が守られている社会だと思いますか」と聞いたところ、「十分ではないが守られている」が52.9%で最も高く、「十分守られている」(23.1%)を合わせた【守られている】は76.0%となっています。一方、「あまり守られていない」(15.4%)と「全然守られてない」(1.9%)を合わせた【守られていない】は17.3%となっています。

【参考】平成30年に実施した区政モニターアンケートにおける同調査では、「守られている」が55.9%、「守られていない」が40.2%（回答者数179人）

＜日常の中で人権が守られている社会だと思うか＞

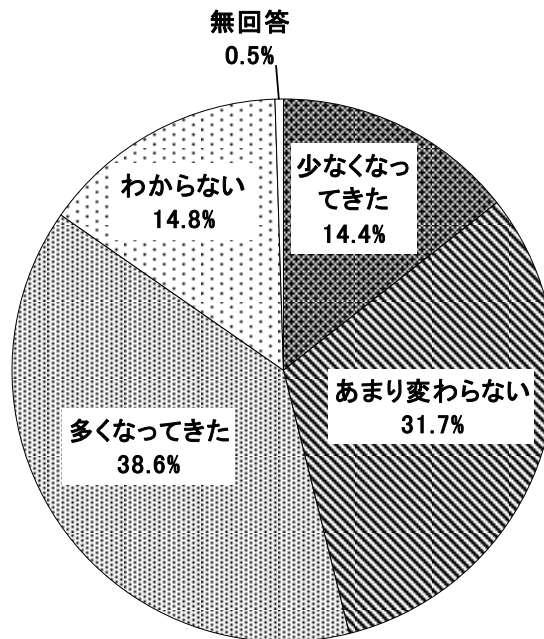


性別でみると、【守られている】は、男性（80.3%）の方が女性（72.6%）より7.7ポイント上回っています。



イ 「あなたは、この5～6年の間に、日本において、人権が侵害されるようなことは、それ以前に比べて、少なくなってきたと思いますか、それとも、多くなってきたと思いますか」と聞いたところ、「多くなってきた」が38.6%と最も高く、次いで「あまり変わらない」(31.7%)、「わからない」(14.8%)、「少なくなってきた」(14.4%)の順となっています。

＜この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識＞



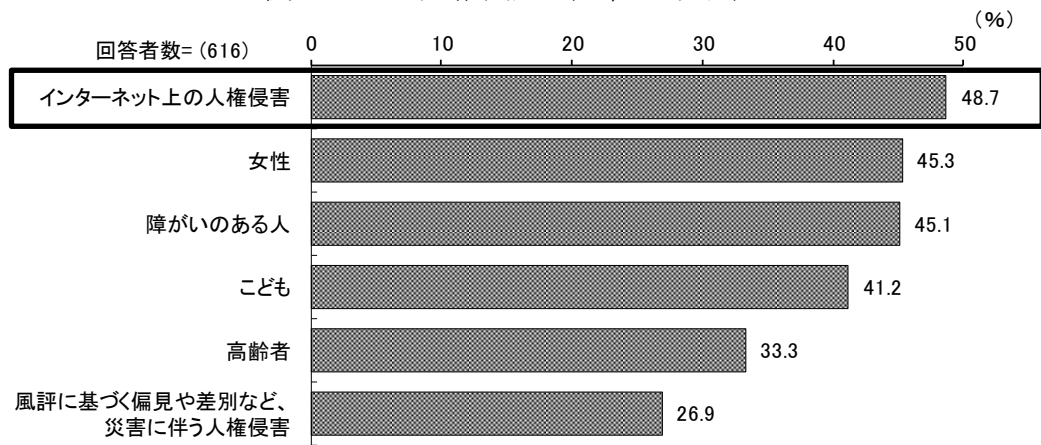
回答者数= (616)

(2) 人権問題の中で関心があるものとして、「インターネット上の人権侵害」「女性」「障がいのある人」と回答した人は4割を超えた

ア 「あなたは、どのような人権問題に関心がありますか」と聞いたところ、「インターネット上の人権侵害」が48.7%で最も高く、次いで、「女性」(45.3%)、「障がいのある人」(45.1%)が僅差で続いています。

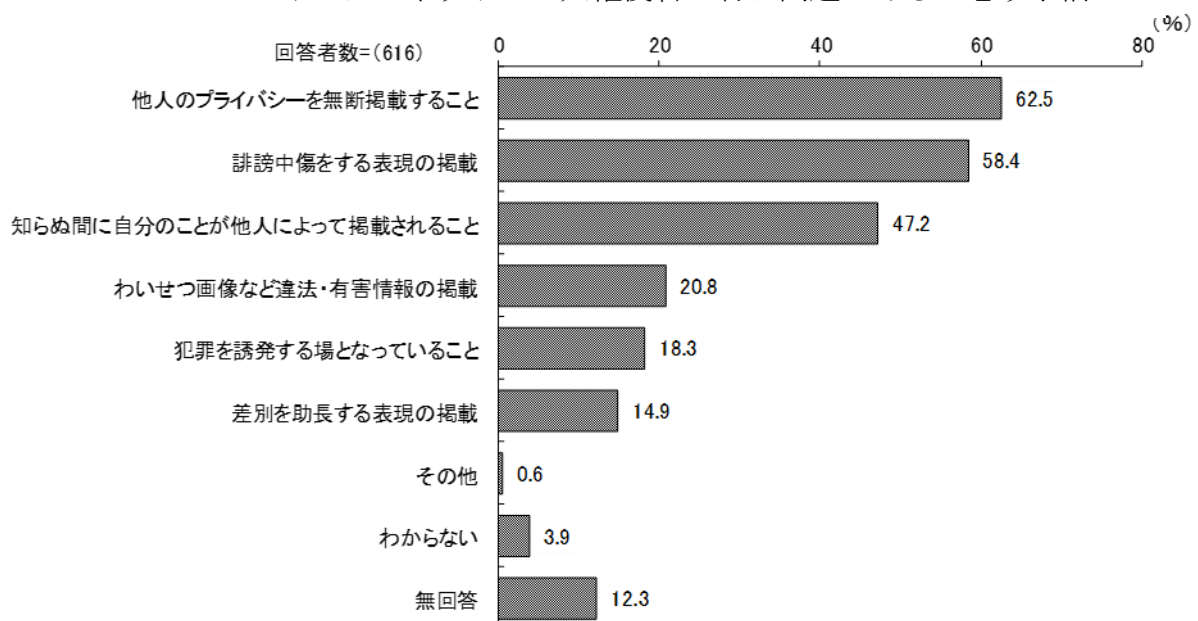
人権問題の中でも、特に「インターネット上の人権侵害」に関心が高いことが伺えます。

<関心のある人権問題（上位6項目）>



イ 「インターネット上の人権侵害に関する事柄で、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか」と聞いたところ、「他人のプライバシーを無断掲載すること」が62.5%と最も高く、次いで「誹謗中傷をする表現の掲載」が58.4%、「知らぬ間に自分のことが他人によって掲載されること」が47.2%となっています。

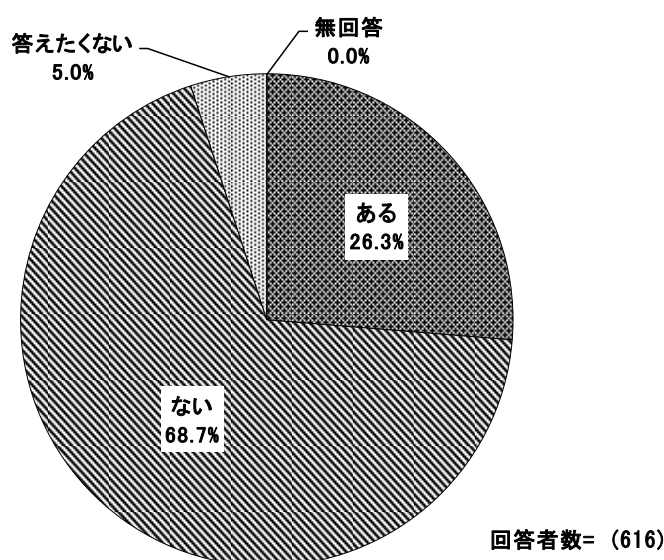
<インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄>



(3) 人権課題の解決に向け、約6割が「学校での人権教育の充実」に力を入れてほしいと回答した

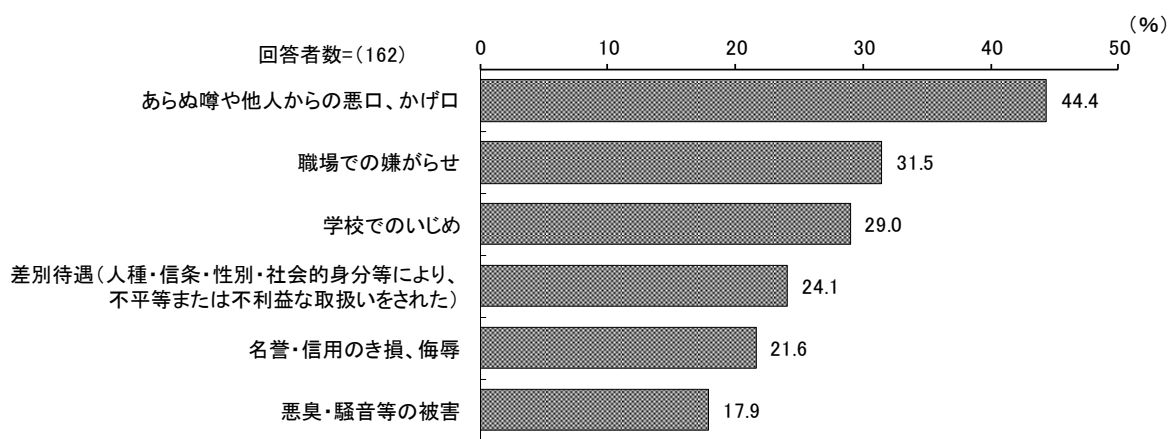
ア 「あなたは、これまでに、ご自身の人権が侵害されたと思ったことがありますか」と聞いたところ、「ある」は26.3%、「ない」は68.7%となっています。

＜自身が人権侵害を受けた経験の有無＞



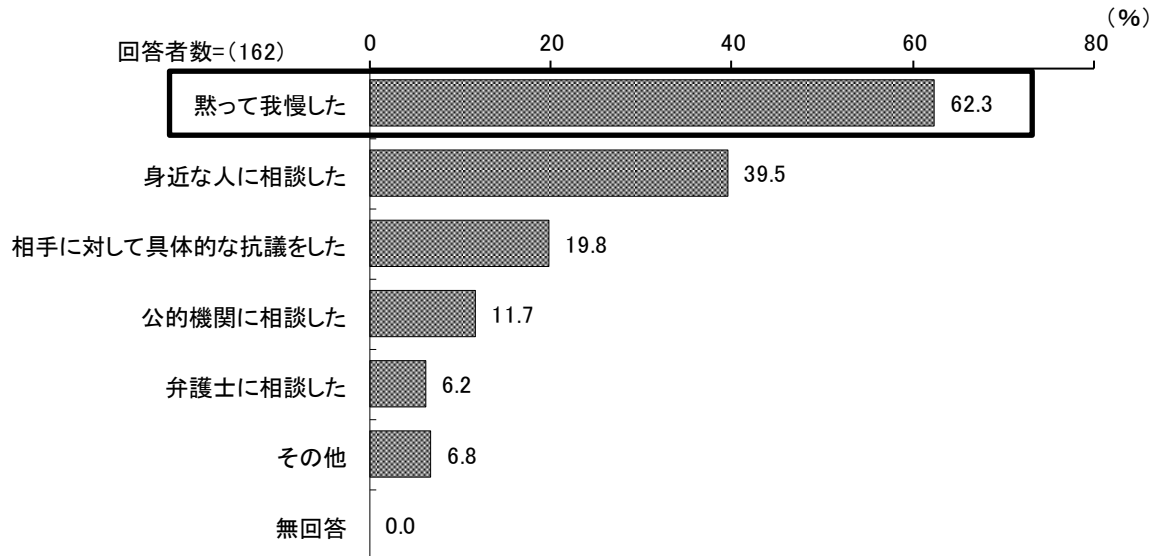
イ 人権が侵害されたと思ったことが「ある」と回答した方に対し、受けた人権侵害はどのような内容だったか聞いたところ、「あらぬ噂や他人からの悪口、かげ口」が44.4%と最も高く、「職場での嫌がらせ」(31.5%)、「学校でのいじめ」(29.0%)が3割前後で続いています。

＜自身が受けた人権侵害の内容（上位6項目）＞



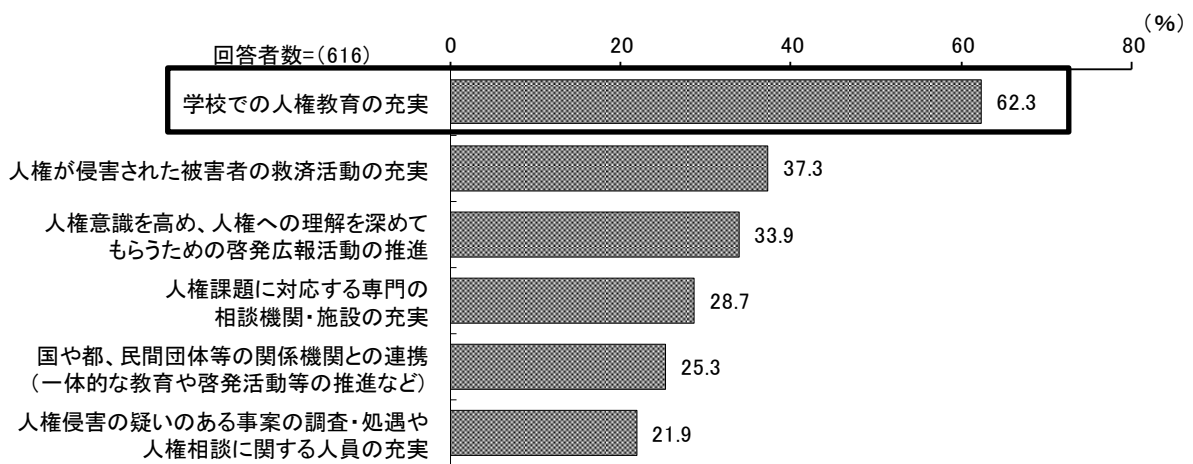
ウ 人権が侵害されたと思ったことが「ある」と回答した方に対し、受けた人権侵害に対してどのように対応したか聴いたところ、「黙って我慢した」が62.3%と突出して高くなっています。

＜人権侵害を受けた時の対応＞



エ 「人権課題の解決に向けて、足立区はどのような取り組みに力を入れていけばよいと思いますか」と聴いたところ、「学校での人権教育の充実」が62.3%と最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済活動の充実」(37.3%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進」(33.9%)の順となっています。

＜人権課題の解決に向けて注力すべき区の取り組み（上位6項目）＞



2 今後の取り組み方針

足立区人権推進指針において、指針は原則的に5年ごとに見直すこととしており、次回は令和9年度に改定を予定している。改定にあたっては今回の調査結果を踏まえ、人権課題に対して周知・啓発を始めとする施策に取り組み、人権に対する理解促進や人権意識の高揚を図っていく。

(1) 区民の人権尊重意識を高め、人権尊重社会の実現を目指す

現状	
①「日常の中で、人権が守られている社会だと思いますか」と聞いたところ、76.0%が「守られている」と回答した。 ②「この5～6年の間に日本において、人権が侵害されるようなことは、以前に比べて少なくなったか、多くなったか」と聞いたところ、「多くなってきた」が38.6%と最も多く、「少なくなってきた」が14.4%となった。	
課題	今後の取り組み
① すべての区民にとって、人権が守られている社会だと感じられるよう、区民の人権尊重意識を高める必要がある。 ② SNSでの誹謗中傷などのように、社会・経済情報の変化に伴い、人権課題も多様化・複雑化している。	① 区民一人ひとりの人権が尊重され、互いを認め合える社会を形成していくため、人権啓発・教育に継続的に取り組んでいく。 ② 「足立区人権推進指針」は原則5年ごとに見直すこととしており、改定の際には、今回の調査結果や社会情勢を踏まえたうえで人権施策に関する方針を更新し各事業に反映していくことで、様々な人権課題に対応していく。

(2) 各人権問題に対し、協働・協創で取り組んでいく

現状	
① 関心のある人権問題として、「インターネット上の人権侵害」が48.7%と最も高くなっている。次いで「女性」、「障がいのある人」、「こども」、「高齢者」などが続いており、区民の人権に対する関心は様々である。 ② インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄として、「他人のプライバシーを無断掲載すること」、「誹謗中傷をする表現の掲載」がそれぞれ6割前後となった。	
課題	今後の取り組み
① 人権が尊重される地域社会の実現には、行政だけでなく、企業や地域・関係団体など地域社会全体で取り組んでいく必要がある。 ② 特に「他人のプライバシーを無断掲載すること」、「誹謗中傷をする表現の掲載」が問題視されている現状を鑑みると、区民一人ひとりが正しい情報モラルやマナーを身に付け、日々の生活の中で正しく実践していけるよう、学びの機会や相談体制の充実に取り組むことが求められている。	① 今後もハローワークと共催の人権研修において、企業における人権の推進を啓発するとともに、区民向けの講演会実施や相談先の周知により、人権尊重を意識した地域社会の形成を目指す。また、関連団体等との情報共有により差別の実状の把握に努め、周知啓発に活かしていく。 ② インターネット上の人権侵害等に関する人権啓発情報や人権相談窓口の案内を区のSNS等で定期的に発信するなど、周知啓発に取り組んでいくことで、区民が人権について改めて考える機会を増やす。

(3) 人権教育・啓発の充実を図る

現状	
① 「人権が侵害されたと思ったことがある」と回答した方は26.3%であり、そのうち、62.3%が「黙って我慢した」と回答している。 ② 「人権課題の解決に向けて、足立区はどのような取り組みに力を入れていけばよいか」と聴いたところ、「学校での人権教育の充実」が6割強と最も高かった。	
課題	今後の取り組み
① 人権侵害を経験した人の約6割が「黙って我慢した」という現状から、既存の相談体制が十分に周知できていない、あるいは「相談する」ことの心理的なハードルが高い。 ② 学校での人権教育は、様々な人権課題に対し差別意識の解消を図るため、人権教育プログラム等に基づいた各教科での取り組みや各校の実情に応じて出前授業などを行っているが、さらに自分ごととして捉える取り組みが必要である。	① 人権侵害を受けた人がいつでも相談できるよう、広報やホームページ、人権啓発事業等を活用し、相談先の周知をより一層強化していく。あわせて、様々な人権課題に応じた相談先があり、内容に寄り添った相談ができることを伝えることで、安心して相談できると感じられる啓発に努めていく。 ② 学校現場における早期からの人権教育の必要性を改めて認識するとともに、人権擁護委員による学校での人権教室の積極的な実施や、教職員に対する研修開催など、人権教育の推進・充実に向けて取り組んでいく。

第3章 調査結果の詳細

設問体系と回答の概要

- 1 日常の中で、人権が守られている社会だと思うか・・・・・・・・・・ P21
 - (1) 【守られている】 76.0%
 - (2) 【守られていない】 17.3%
- 2 関心のある人権問題・・・・・・・・・・ P23
 - (1) 「インターネット上の人権侵害」 48.7%
 - (2) 「女性」 45.3%
- 3 この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識・・・・・・・・・・ P25
 - (1) 「多くなってきた」 38.6%
 - (2) 「あまり変わらない」 31.7%
- 4 自身が人権侵害を受けた経験の有無・・・・・・・・・・ P27
 - (1) 「ない」 68.7%
 - (2) 「ある」 26.3%
- 5 自身が受けた人権侵害の内容・・・・・・・・・・ P29
 - (1) 「あらぬ噂や他人からの悪口、かげ口」 44.4%
 - (2) 「職場での嫌がらせ」 31.5%
- 6 人権侵害を受けた時の対応・・・・・・・・・・ P31
 - (1) 「黙って我慢した」 62.3%
 - (2) 「身近な人に相談した」 39.5%
- 7 部落差別（同和問題）の認知・・・・・・・・・・ P33
 - (1) 「なんとなく知っている」 40.3%
 - (2) 「知っている」 32.6%
- 8 部落差別（同和問題）を初めて知ったきっかけ・・・・・・・・・・ P36
 - (1) 「学校の授業で教わった」 29.8%
 - (2) 「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」 17.1%
- 9 部落差別（同和問題）に関して、現在起きていると思う人権問題・・・・・・・・・・ P39
 - (1) 「交際や結婚問題で周囲の反対を受けること」 45.4%
 - (2) 「差別的な言動をされること」 39.2%
- 10 現在もなお、部落差別が存在する理由・・・・・・・・・・ P42
 - (1) 「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」 62.6%
 - (2) 「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」 40.1%

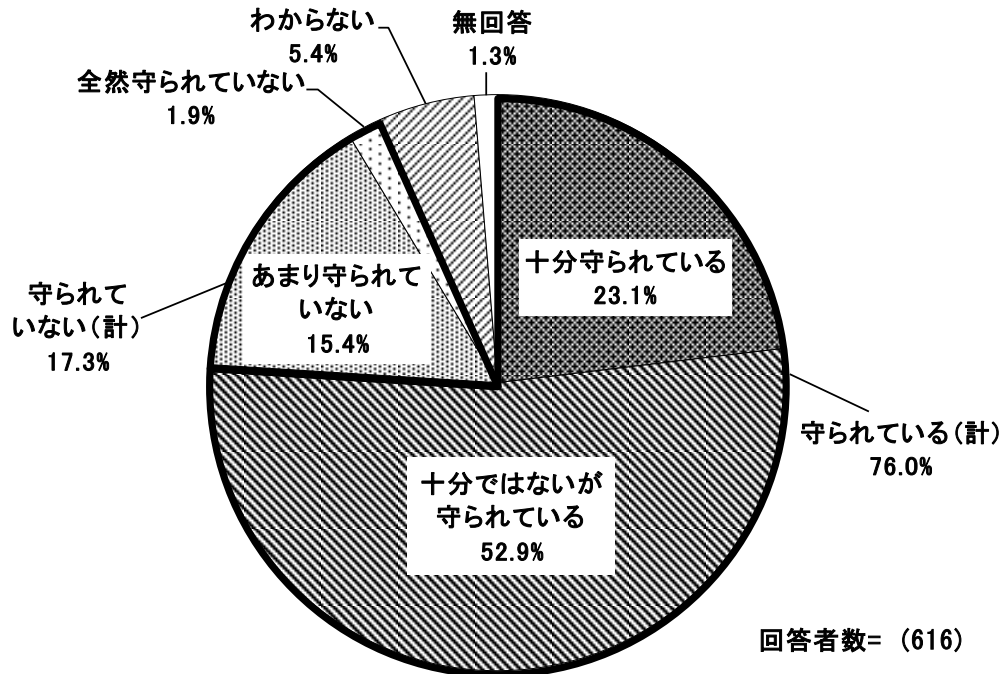
- 11 同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか・・・・・・・・・・P45**
（１）「家族や親戚の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」34.9%
（２）「わからない」33.3%
- 12 インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無・・・・・・・・・・P47**
（１）「ない」90.7%
（２）「ある」6.2%
- 13 インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄・・・・・・・・・・P49**
（１）「他人のプライバシーを無断掲載すること」62.5%
（２）「誹謗中傷をする表現の掲載」58.4%
- 14 インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うこと・・・・・・・・・・P52**
（１）「違法な情報発信者に対する取締強化」67.5%
（２）「プロバイダ等に対する人権を侵害する違法な情報の削除要請」54.5%
- 15 人権課題の解決に向けて注力すべき区の取り組み・・・・・・・・・・P55**
（１）「学校での人権教育の充実」62.3%
（２）「人権が侵害された被害者の救済活動の充実」37.3%
- 16 人権問題に関することについてのご意見、ご要望・・・・・・・・・・P58**
（１）「人権課題の解決に向けた区の取り組みについて」60件
（２）「人権問題について」21件
- 17 アンケートの実施が人権課題の把握及び人権問題の解決につながるかの考え・・・・・・・・P59**
（１）「どちらかといえばそう思う」43.7%
（２）「どちらかといえばそう思わない」19.2%

1 日常の中で、人権が守られている社会だと思うか

(1) 単純集計

問1 あなたは、日常の中で、人権が守られている社会だと思いますか

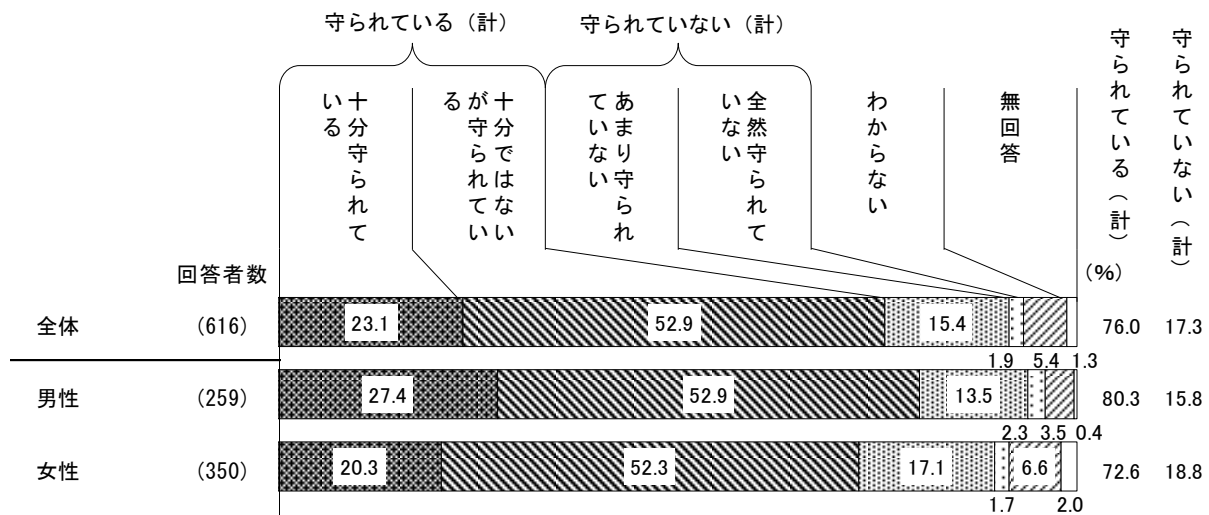
(○は1つだけ)。



日常の中で、人権が守られている社会だと思うか聞いたところ、「十分ではないが守られている」が52.9%で最も高く、「十分に守られている」(23.1%)を合わせた【守られている】は76.0%となっています。

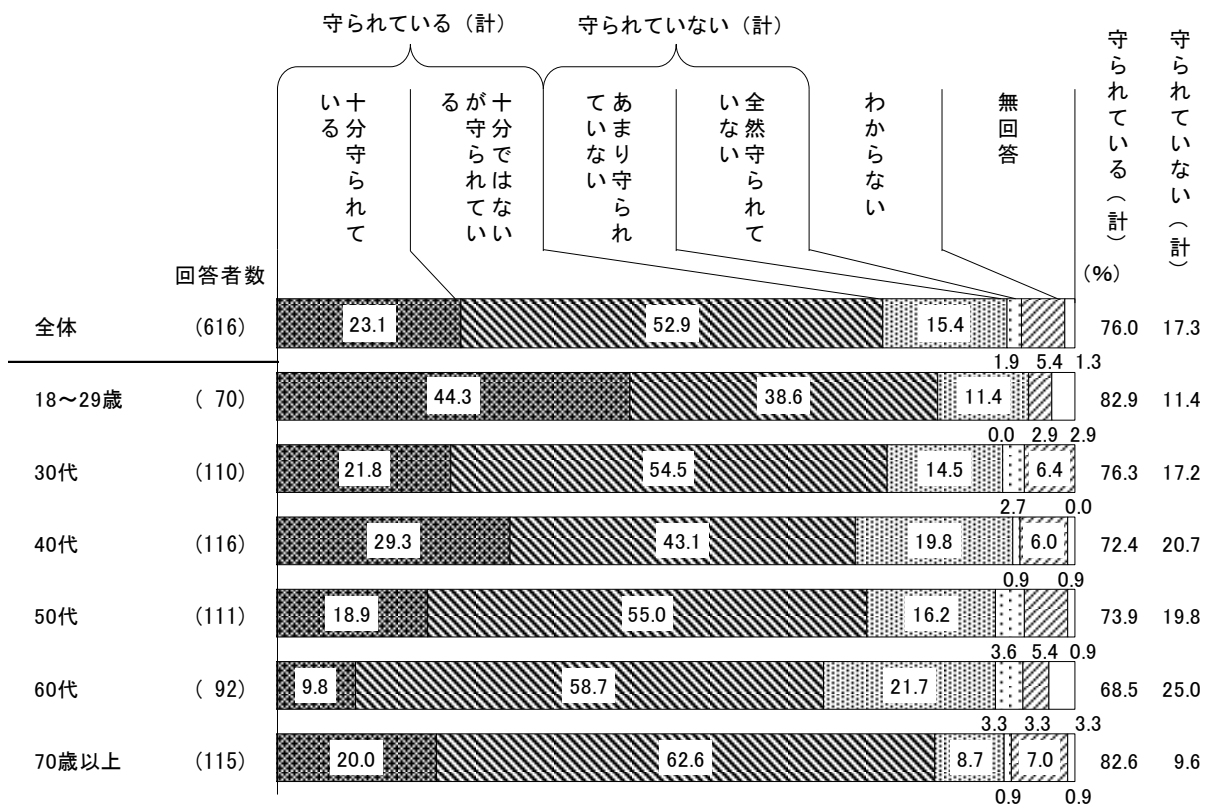
一方、「あまり守られていない」(15.4%)と「全然守られていない」(1.9%)を合わせた【守られていない】は17.3%となっています。

(2) クロス集計・性別／日常の中で、人権が守られている社会だと思うか



性別でみると、【守られている】は男性（80.3%）の方が女性（72.6%）より 7.7 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／日常の中で、人権が守られている社会だと思うか



年代別でみると、【守られている】は18～29歳で82.9%と最も高く、僅差で70歳以上が82.6%となっています。

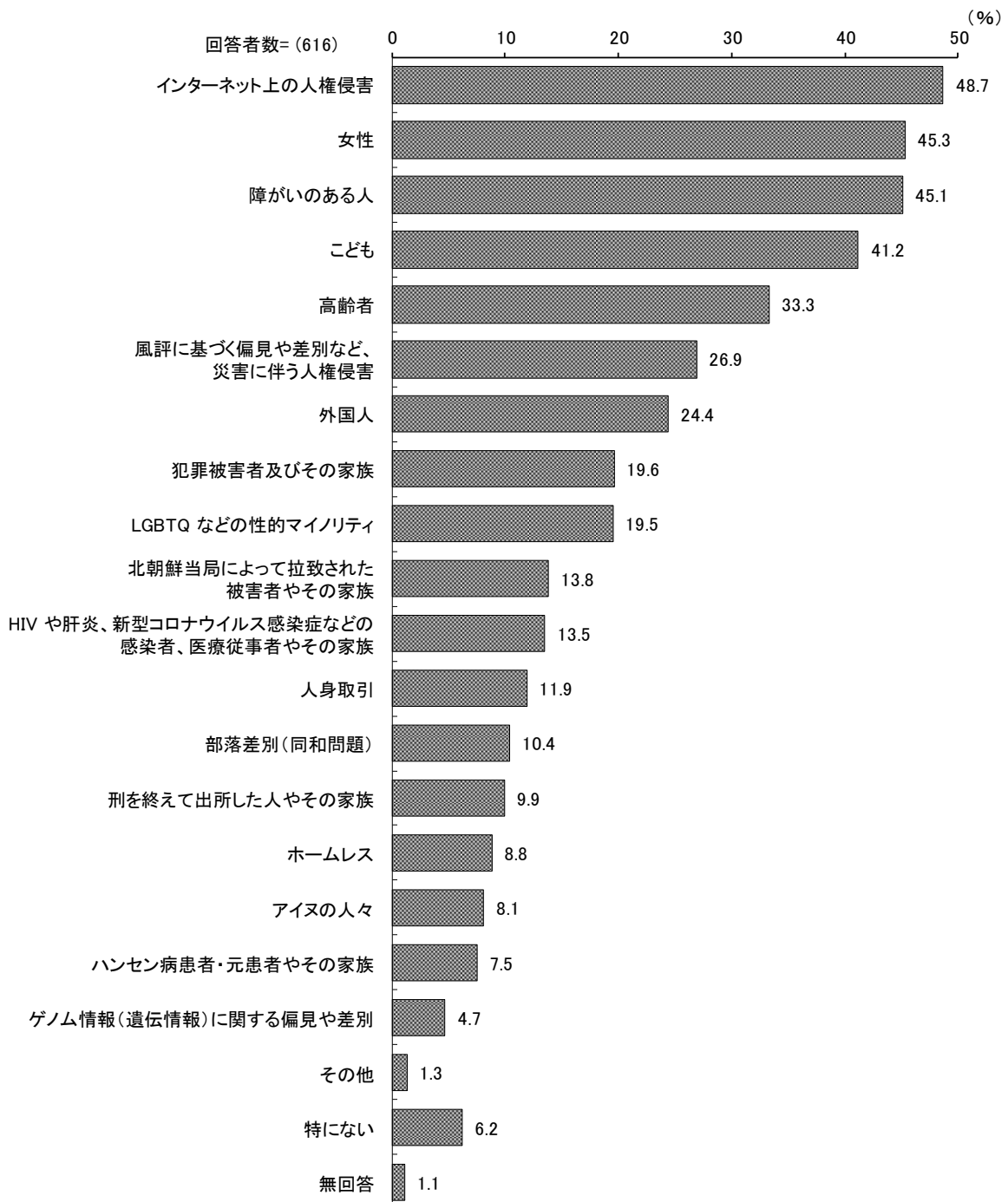
一方、【守られていない】は60代で25.0%と最も高く、次いで40代が20.7%となっています。

2 関心のある人権問題

(1) 単純集計

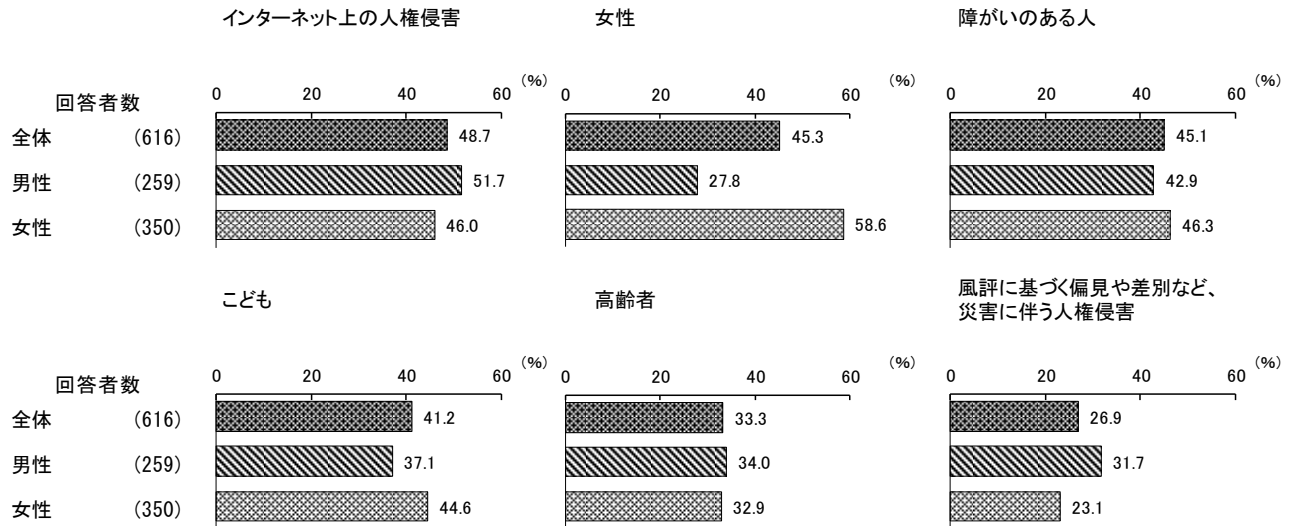
問2 あなたは、どのような人権問題に関心がありますか

(○はあてはまるものすべて)。



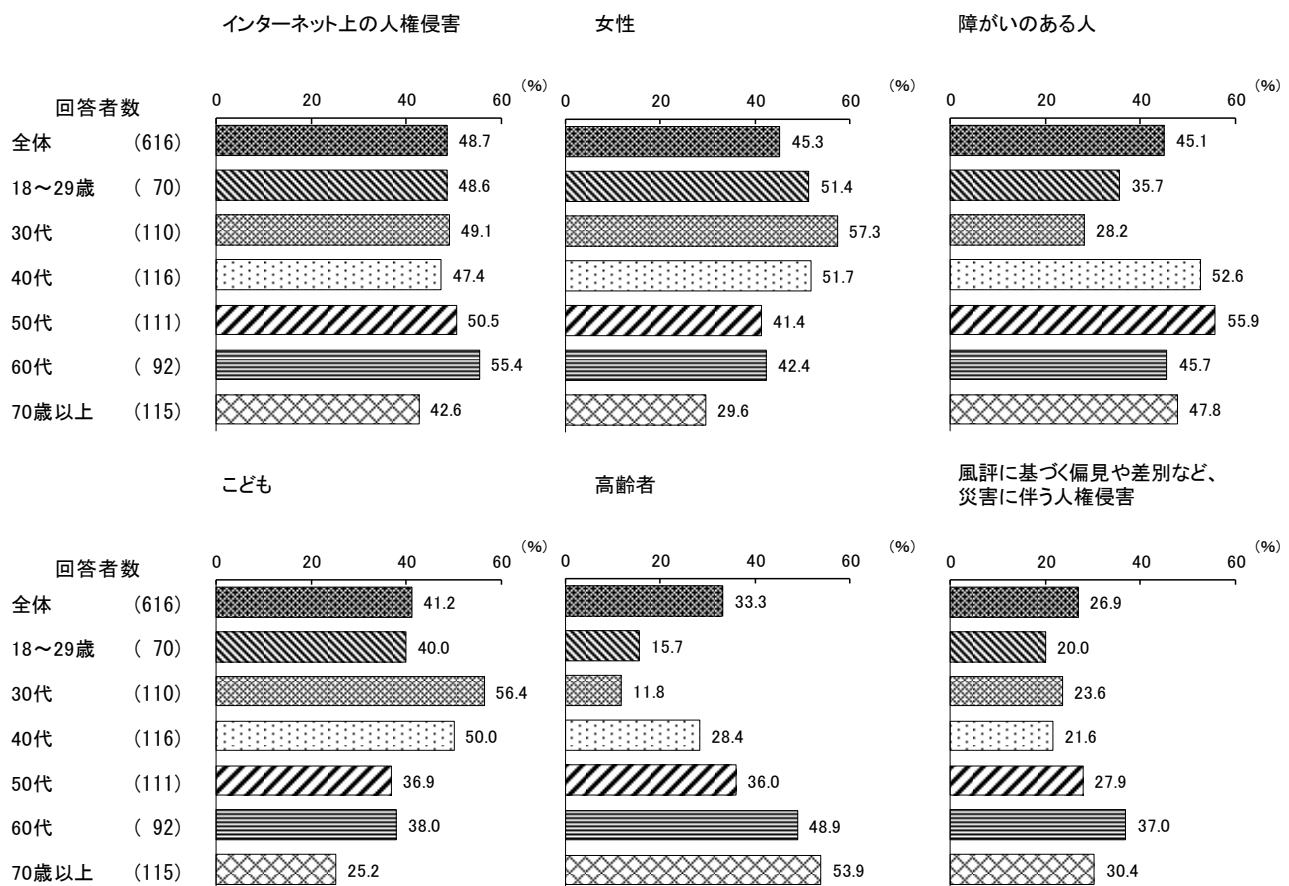
どのような人権問題に関心があるか聴いたところ、「インターネット上の人権侵害」が48.7%で最も高く、次いで、「女性」(45.3%)、「障がいのある人」(45.1%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／関心のある人権問題（上位6項目）



性別でみると、関心のある人権問題について「女性」と回答した人は女性（58.6%）の方が男性（27.8%）より 30.8 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／関心のある人権問題（上位6項目）

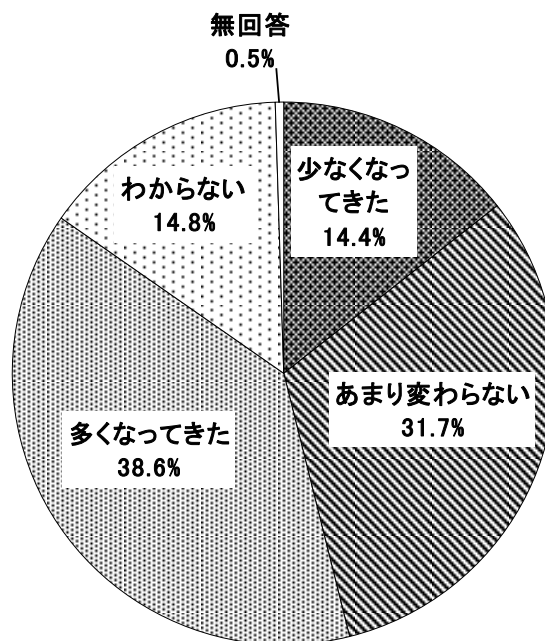


年代別でみると、「子ども」と回答した人は 30 代で 56.4%と最も高く、次いで 40 代（50.0%）、18～29 歳（40.0%）などとなっています。
一方、70 歳以上で 25.2%と最も低くなっています。

3 この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識

(1) 単純集計

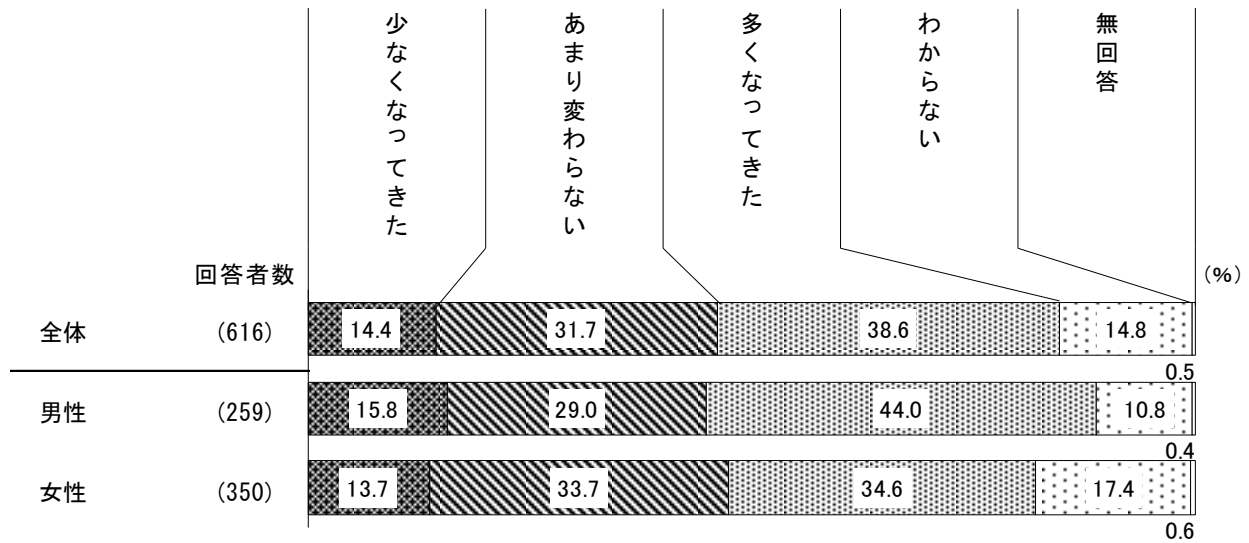
問3 新聞やテレビなどで、「人権問題」や「人権が侵害された」というニュースが報道されることがあります。あなたは、この5～6年の間に、日本において、人権が侵害されるようなことは、それ以前に比べて、少なくなってきたと思いますか、それとも、多くなってきたと思いますか（○は1つだけ）。



回答者数= (616)

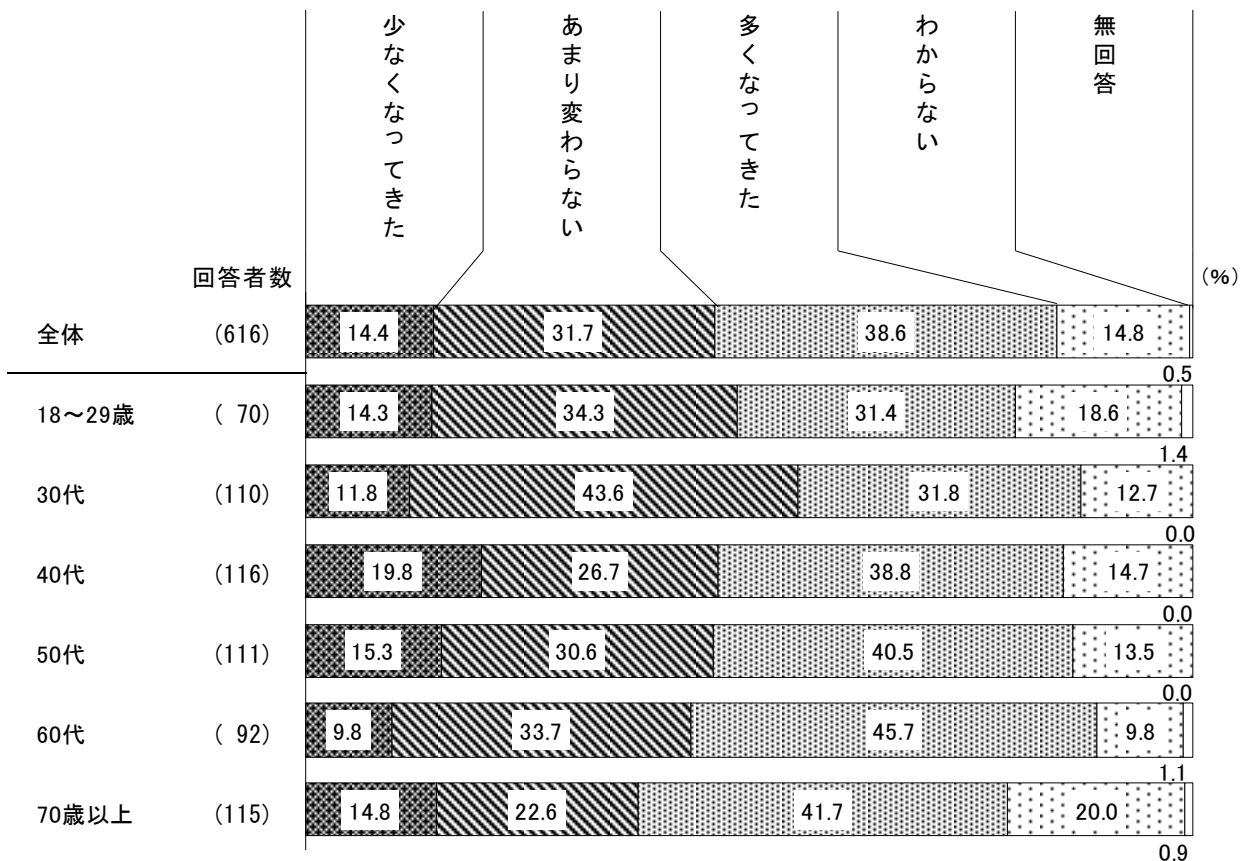
この5～6年間の人権侵害の増減意識について聞いたところ、「多くなってきた」が38.6%と最も高く、次いで「あまり変わらない」(31.7%)、「少なくなってきた」(14.4%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識



性別でみると、「多くなってきた」は男性（44.0%）の方が女性（34.6%）より9.4ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／この5～6年間の日本における人権侵害の増減意識

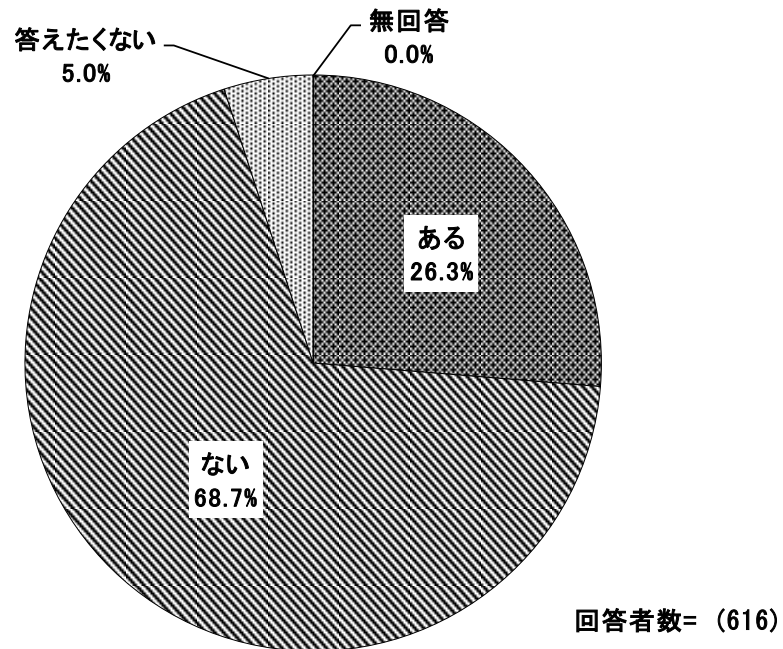


年代別でみると、「少なくなってきた」は40代で19.8%、「あまり変わらない」は30代で43.6%、「多くなってきた」は60代で45.7%とそれぞれ最も高くなっています。

4 自身が人権侵害を受けた経験の有無

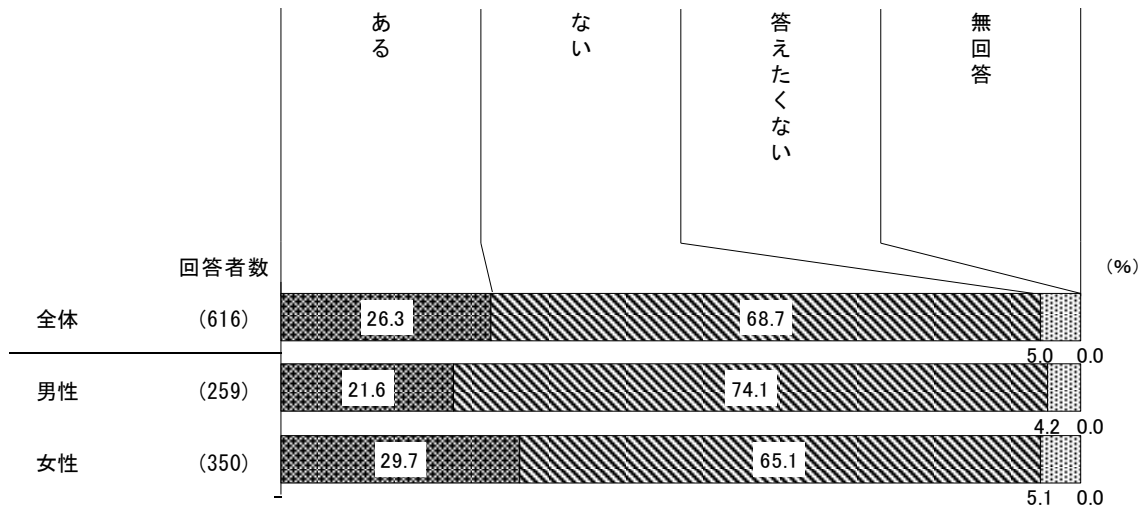
(1) 単純集計

問4 あなたは、これまでに、ご自身の人権が侵害されたと思ったことがありますか（○は1つだけ）。



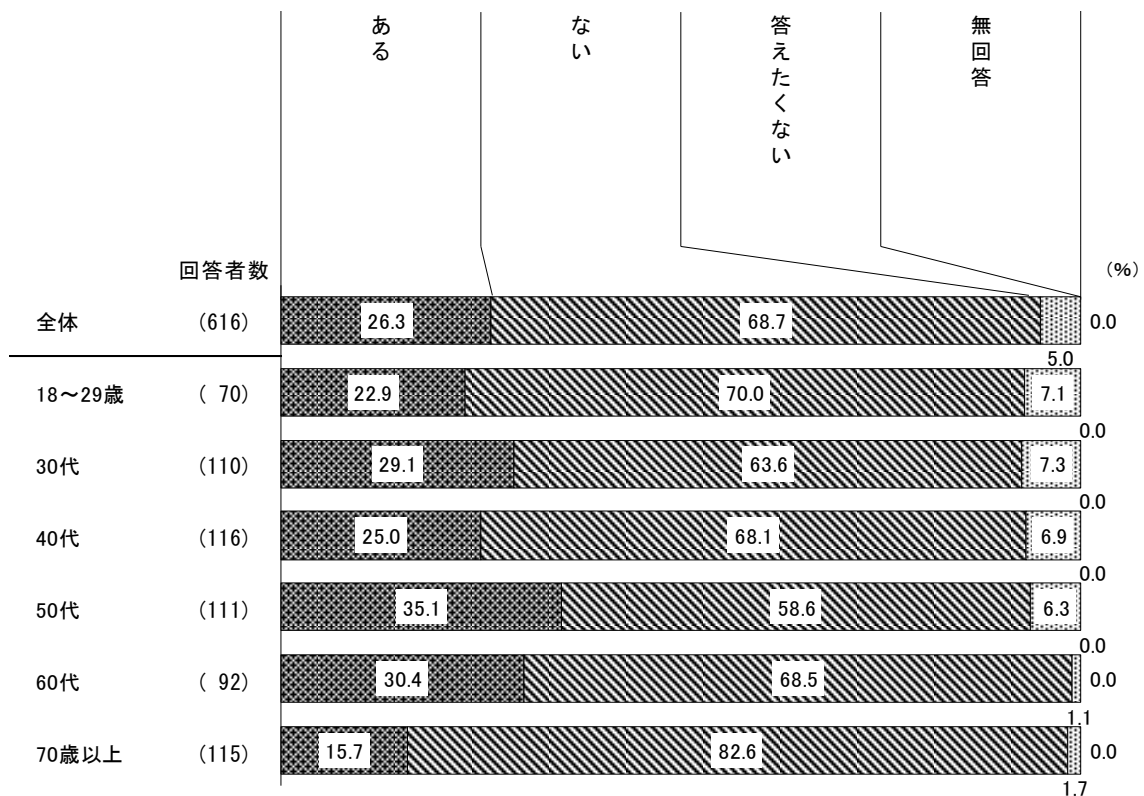
自身が人権侵害を受けた経験の有無について聞いたところ、「ある」が 26.3%、「ない」が 68.7%となっています。

(2) クロス集計・性別／自身が人権侵害を受けた経験の有無



性別でみると、「ある」は女性（29.7%）の方が男性（21.6%）より 8.1 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／自身が人権侵害を受けた経験の有無



年代別でみると、「ある」は50代で35.1%と最も高く、次いで60代（30.4%）となっています。一方、「ない」は70歳以上（82.6%）が8割を超え、次いで18～29歳（70.0%）が続いています。

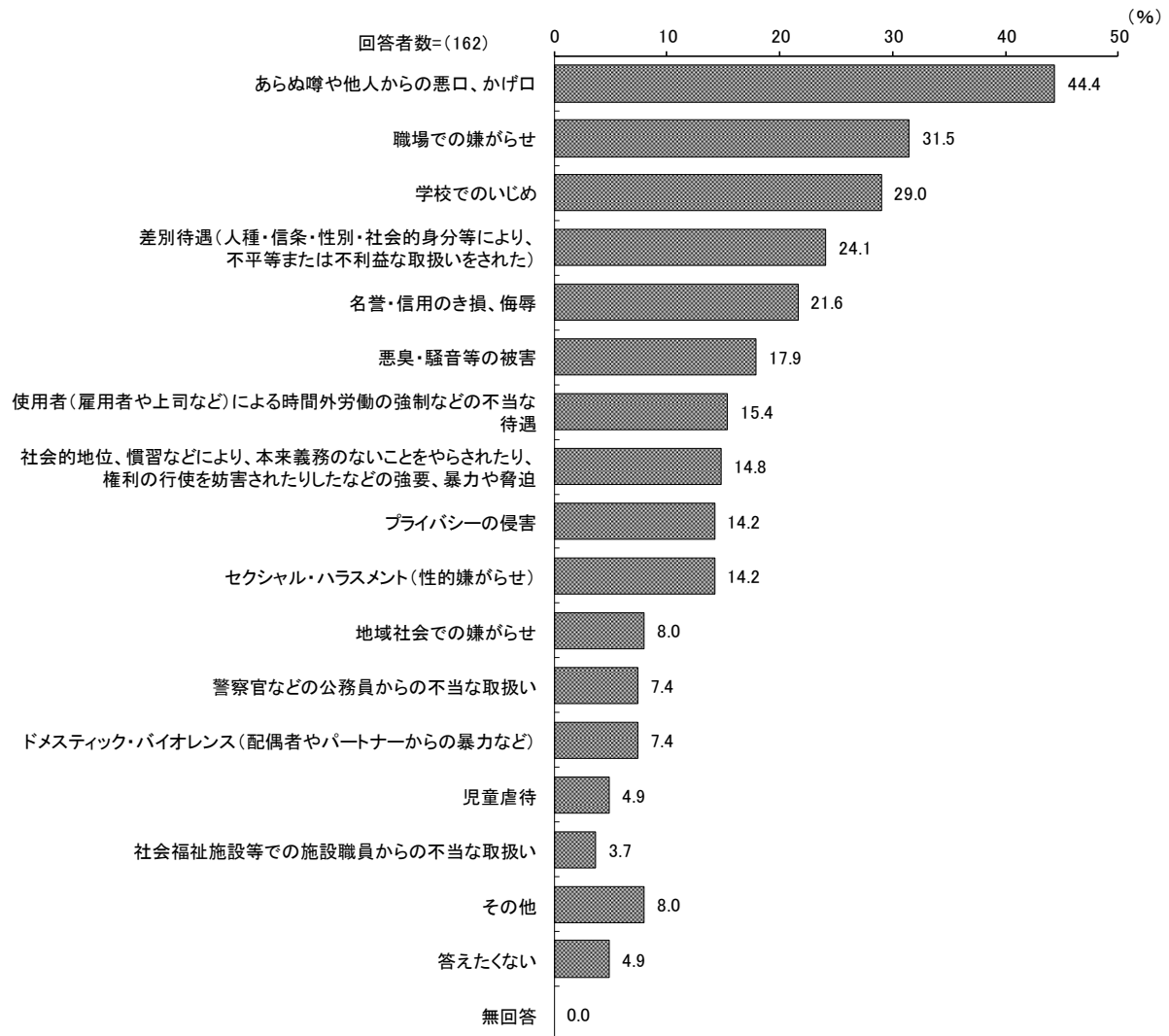
5 自身が受けた人権侵害の内容

(1) 単純集計

(問4で「1 ある」とお答えの方に)

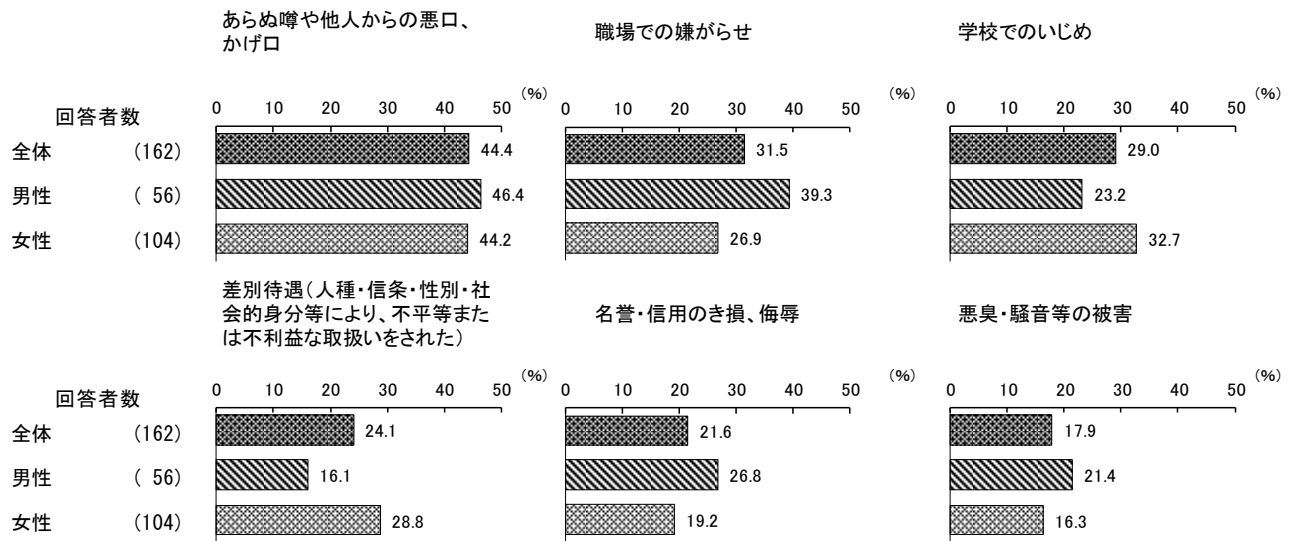
問4-1 それは、どのような場合でしたか。差支えなければお知らせください

(○はあてはまるものすべて)。



自身が人権侵害を受けた経験が「ある」とお答えの方に、受けた人権侵害の内容について聞いたところ、「あらぬ噂や他人からの悪口、かげ口」が44.4%と最も高く、次いで「職場での嫌がらせ」(31.5%)、「学校でのいじめ」(29.0%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／自身が受けた人権侵害の内容（上位6項目）



性別でみると、「差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等または不利益な取扱いをされた）」は女性（28.8%）の方が男性（16.1%）より 12.7 ポイント高くなっています。

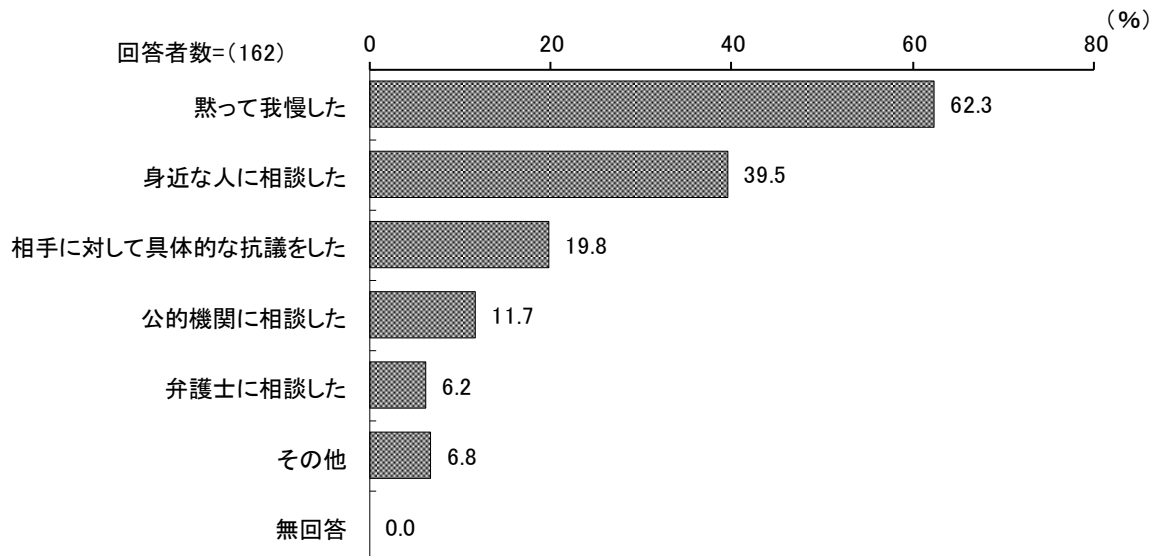
6 人権侵害を受けた時の対応

(1) 単純集計

(問4で「1 ある」とお答えの方に)

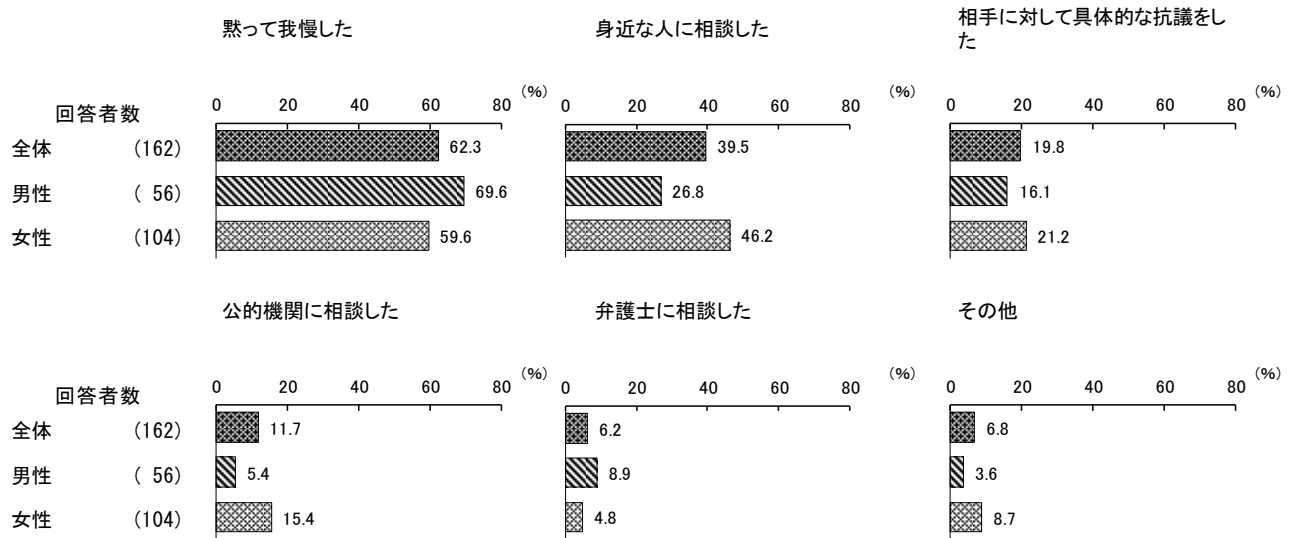
問4-2 あなたは、その人権侵害に対して、どのように対応されましたか

(○はあてはまるものすべて)。



自身が人権侵害を受けた経験が「ある」とお答えの方に、人権侵害を受けた時の対応について聞いたところ、「黙って我慢した」が62.3%と最も高く、次いで「身近な人に相談した」が39.5%となっています。

(2) クロス集計・性別／人権侵害を受けた時の対応

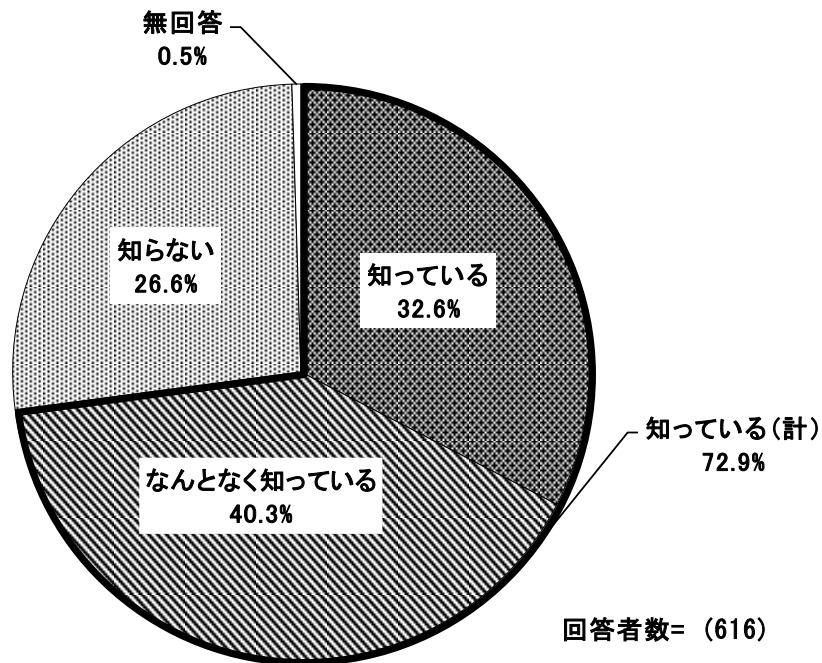


性別でみると、「身近な人に相談した」は女性（46.2%）の方が男性（26.8%）より 19.4 ポイント高くなっています。

7 部落差別（同和問題）の認知

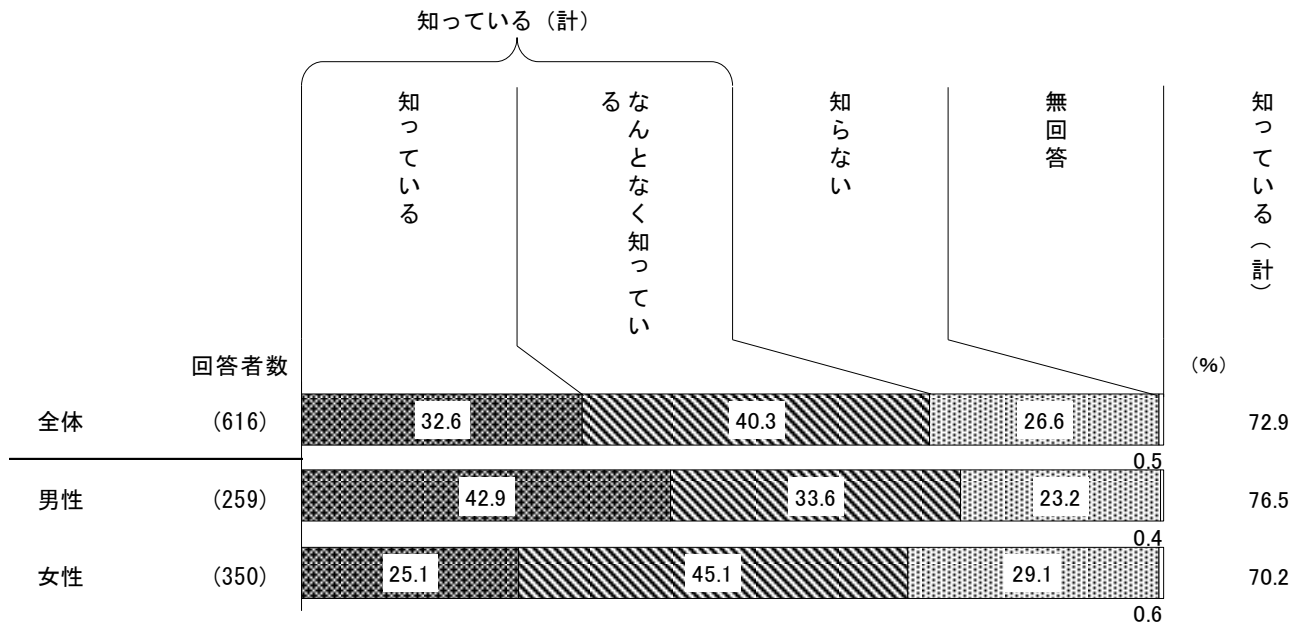
（1）単純集計

問5 あなたは、部落差別（同和問題）のことを知っていますか（○は1つだけ）。



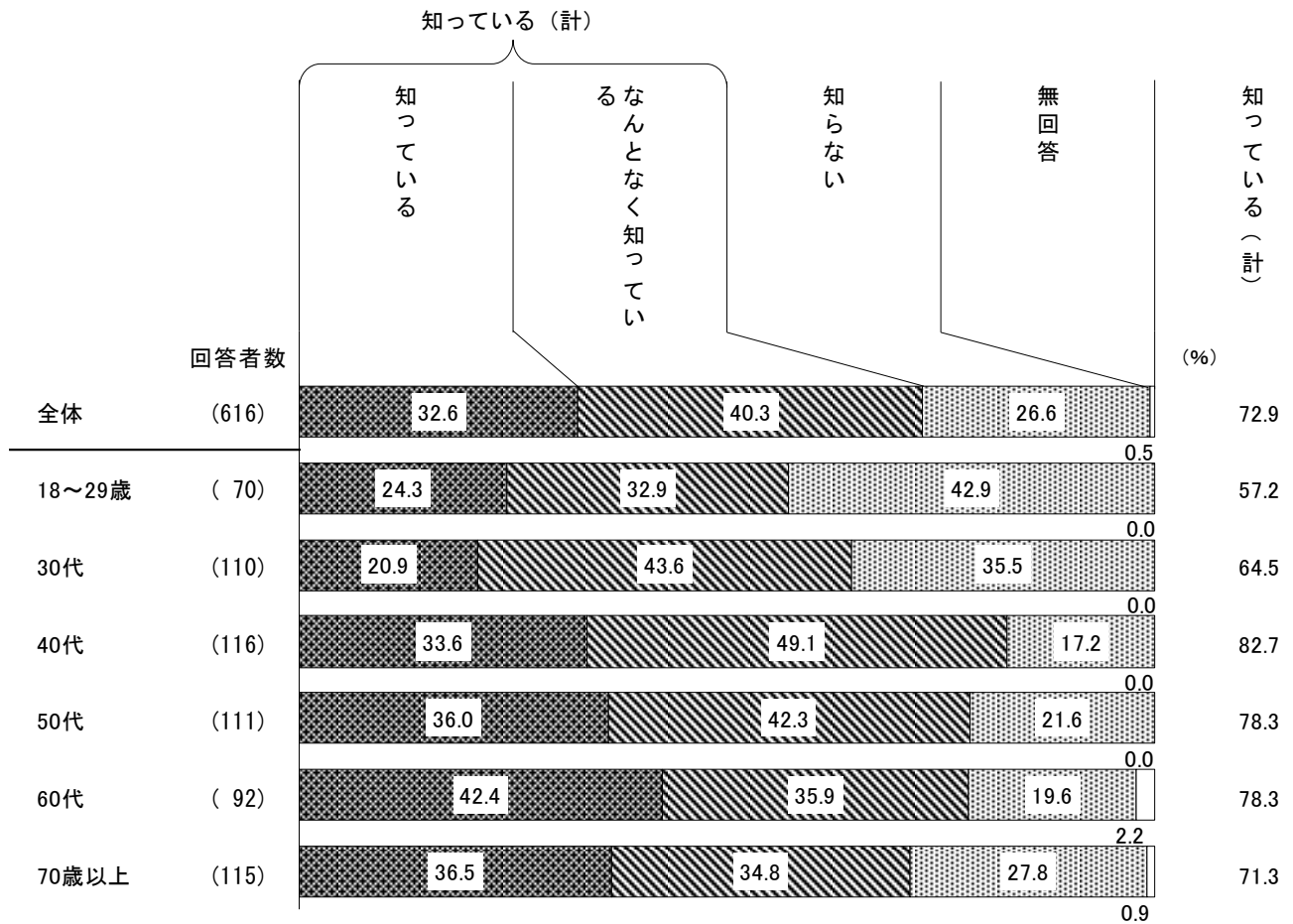
部落差別（同和問題）のことを知っているか聞いたところ、「なんとなく知っている」が40.3%で最も高く、次いで「知っている」が32.6%、「知らない」が26.6%となっています。また、「知っている」(32.6%)と「なんとなく知っている」(40.3%)を合わせた【知っている】は72.9%となっています。

(2) クロス集計・性別／部落差別（同和問題）の認知



性別でみると、【知っている】は男性（76.5%）の方が女性（70.2%）より 6.3 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／部落差別（同和問題）の認知



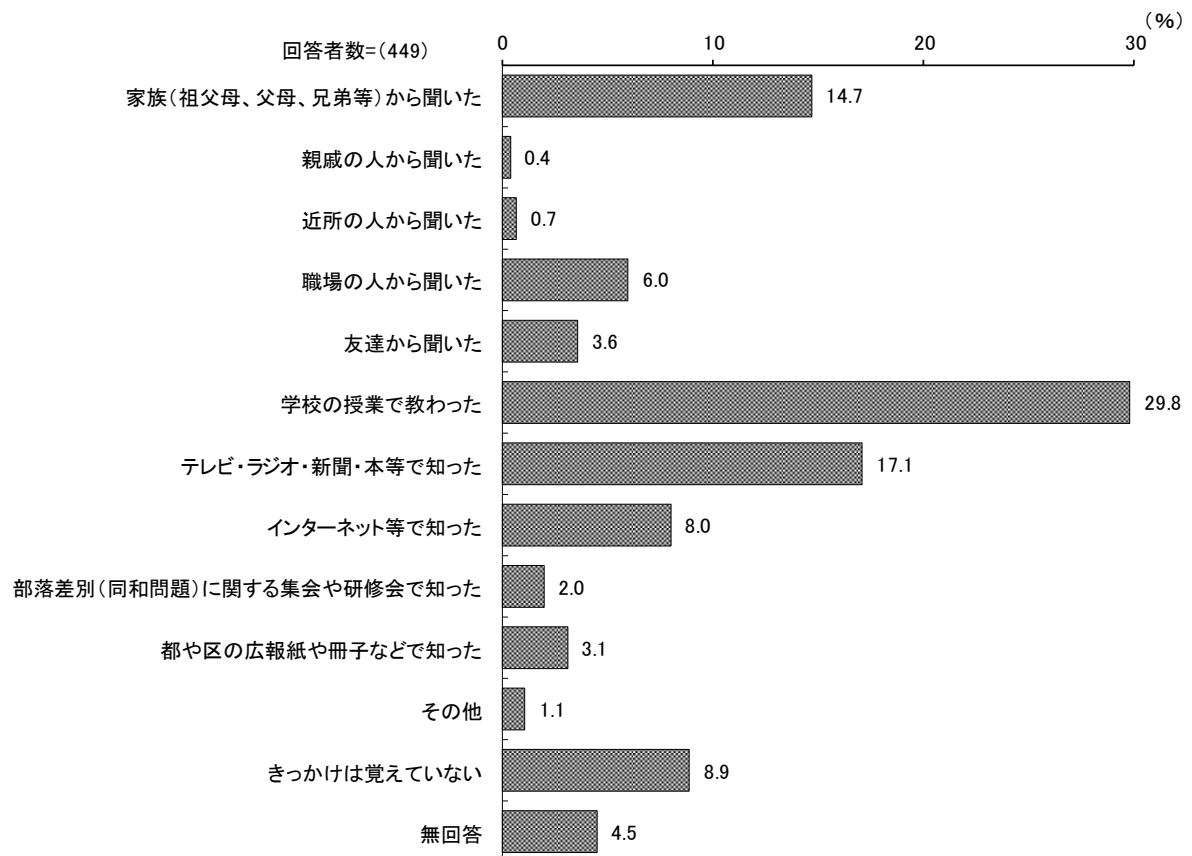
年代別でみると、【知っている】は40代が82.7%と最も高く、次いで50代と60代がともに78.3%となっています。一方、18～29歳が57.2%と最も低くなっています。

8 部落差別（同和問題）を初めて知ったきっかけ

（１）単純集計

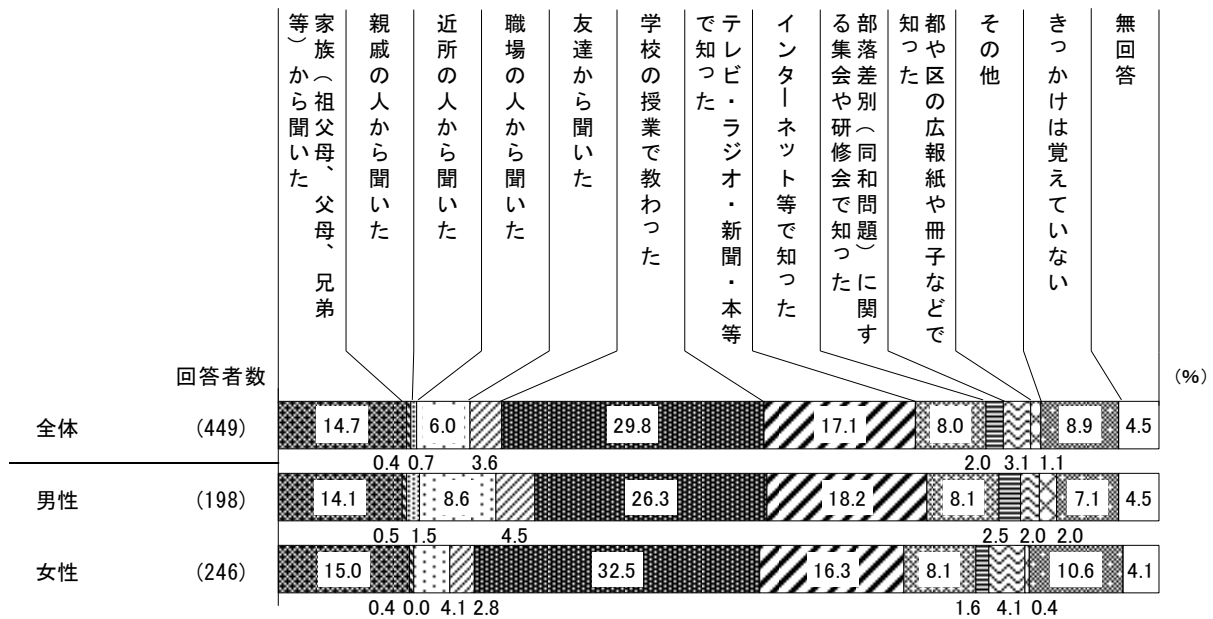
（問５で「１ 知っている」「２ なんとなく知っている」とお答えの方に）

問５－１ 初めて知ったきっかけをお知らせください（○は１つだけ）。



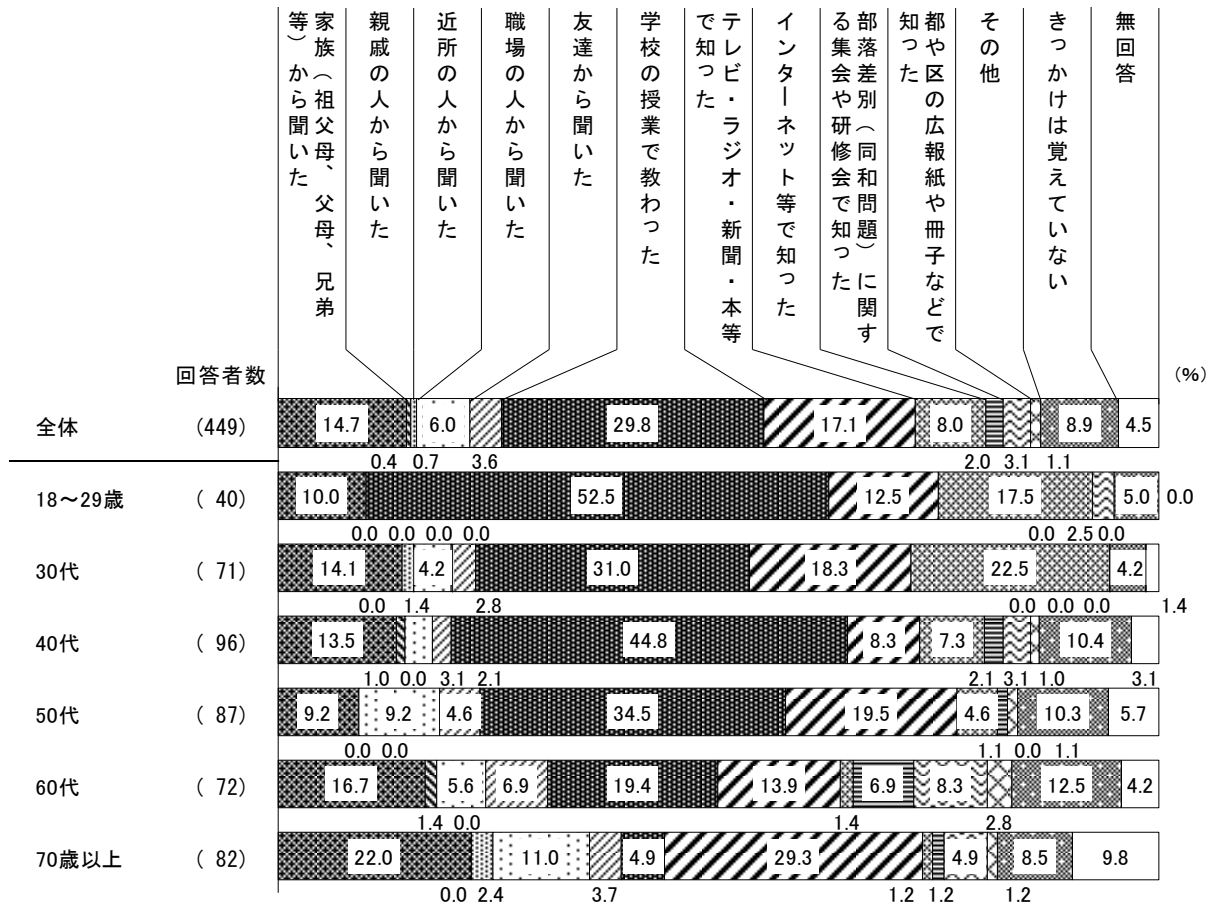
部落差別（同和問題）のことを「知っている」、「なんとなく知っている」とお答えの方に、初めて知ったきっかけについて聴いたところ、「学校の授業で教わった」が29.8%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」（17.1%）、「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」（14.7%）の順となっています。

(2) クロス集計・性別／部落差別（同和問題）を初めて知ったきっかけ



性別でみると、「学校の授業で教わった」は女性（32.5%）の方が男性（26.3%）より 6.2 ポイント高くなっています。一方、「職場の人から聞いた」は男性（8.6%）の方が女性（4.1%）より 4.5 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／部落差別（同和問題）を初めて知ったきっかけ



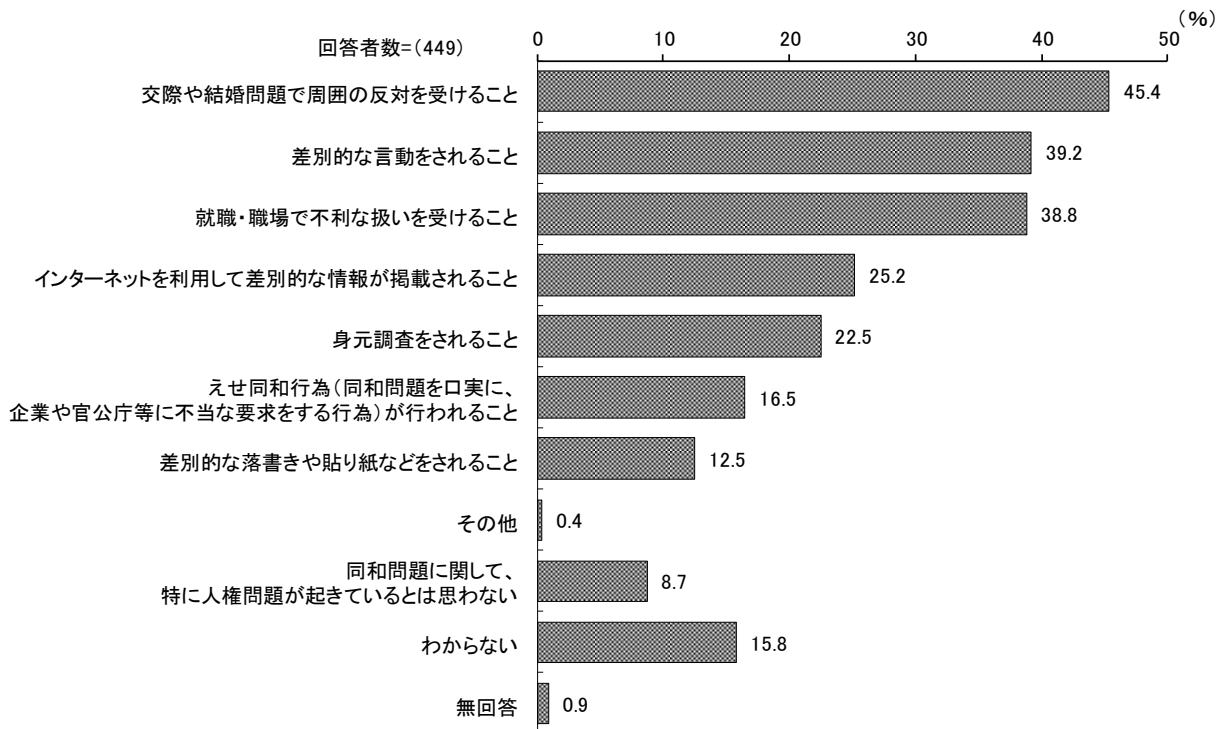
年代別でみると、70歳以上を除くすべての年代で「学校の授業で教わった」が最も高くなっており、18～29歳では52.5%と他と比べて高くなっています。70歳以上では「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が29.3%と最も高くなっています。

9 部落差別（同和問題）に関して、現在起きていると思う人権問題

（1）単純集計

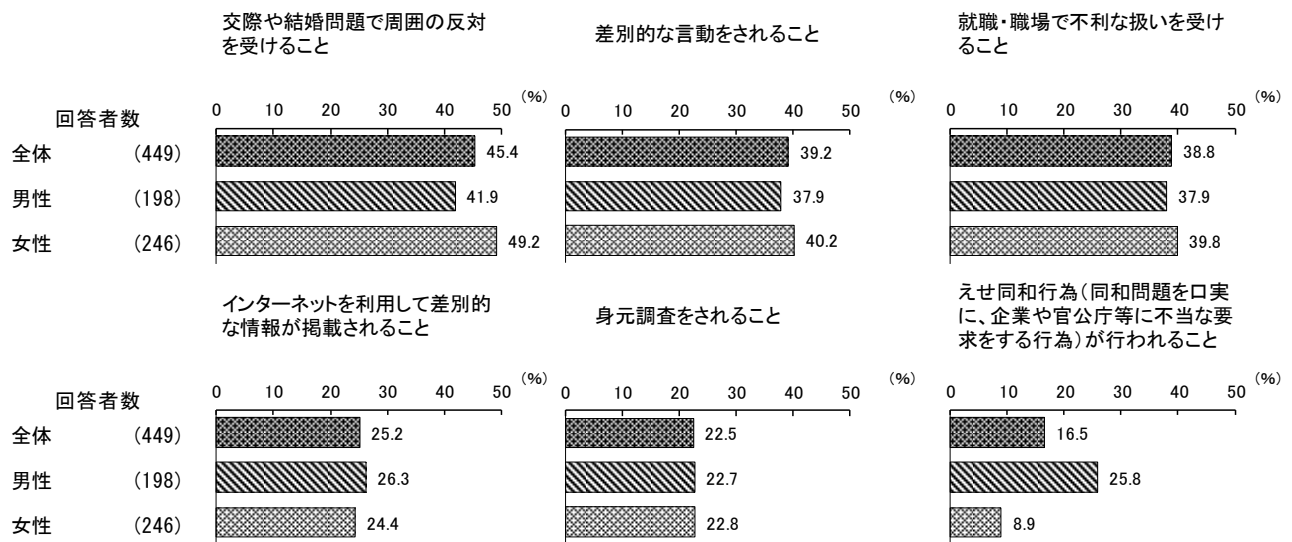
（問5で「1 知っている」「2 なんとなく知っている」とお答えの方に）

問5－2 あなたは、部落差別（同和問題）に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか（○はあてはまるものすべて）。



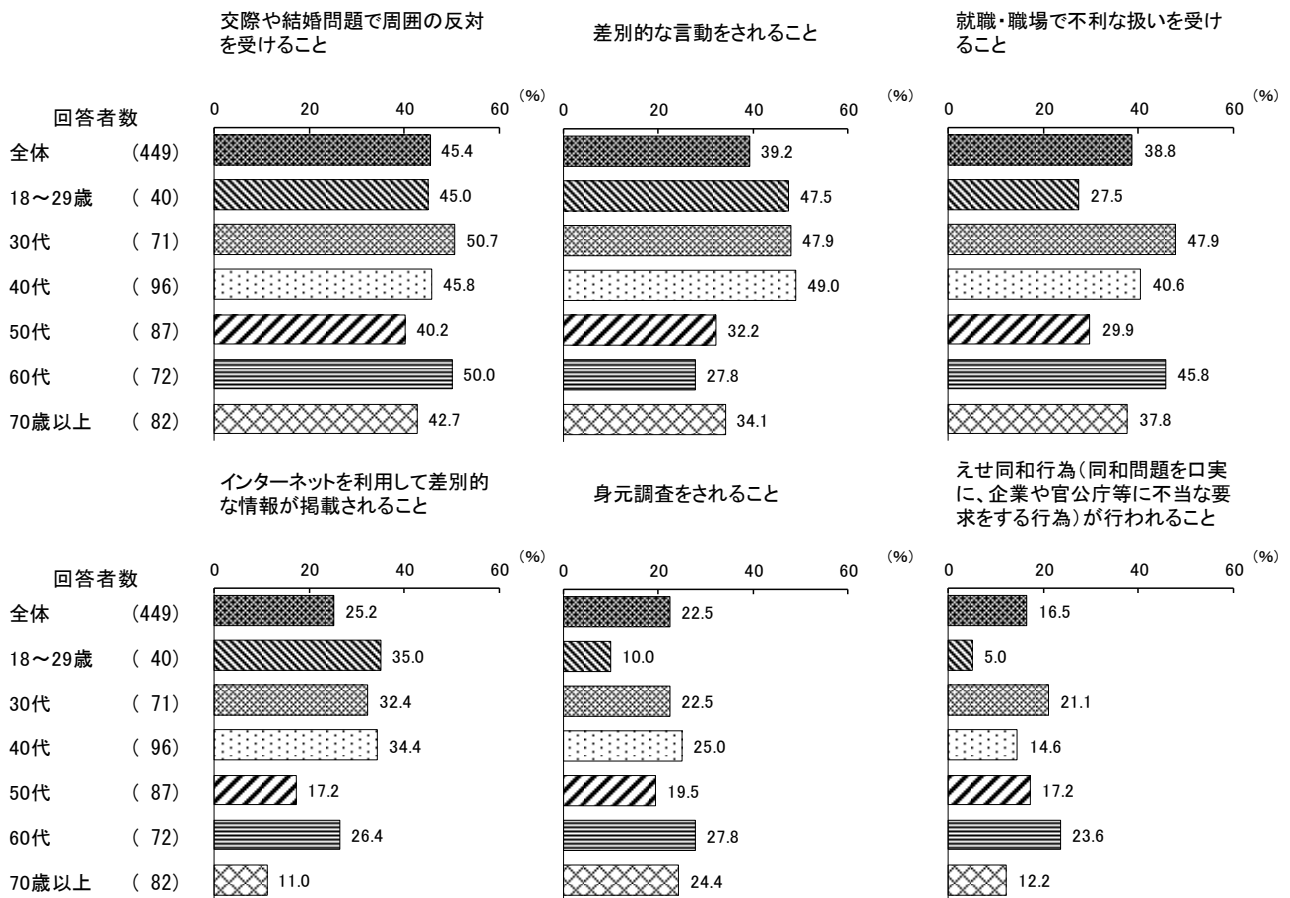
部落差別（同和問題）のことを「知っている」、「なんとなく知っている」とお答えの方に、同和問題に関して起きていると思う人権問題について聴いたところ、「交際や結婚問題で周囲の反対を受けること」が45.4%で最も高く、次いで「差別的な言動をされること」（39.2%）、「就職・職場で不利な扱いを受けること」（38.8%）の順となっています。

(2) クロス集計・性別／部落差別（同和問題）に関して、現在起きていると思う人権問題（上位6項目）



性別でみると、「えせ同和行為（同和問題を口実に、企業や官公庁等に不当な要求をする行為）が行われること」は男性（25.8%）の方が女性（8.9%）より 16.9 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／部落差別（同和問題）に関して、現在起きていると思う人権問題（上位6項目）



年代別でみると、30代と50代以上では「交際や結婚問題で周囲の反対を受けること」が最も高くなっており、30代が50.7%、60代が50.0%と僅差が続いています。また、18～29歳と40代では「差別的な言動をされること」が最も高くなっています。

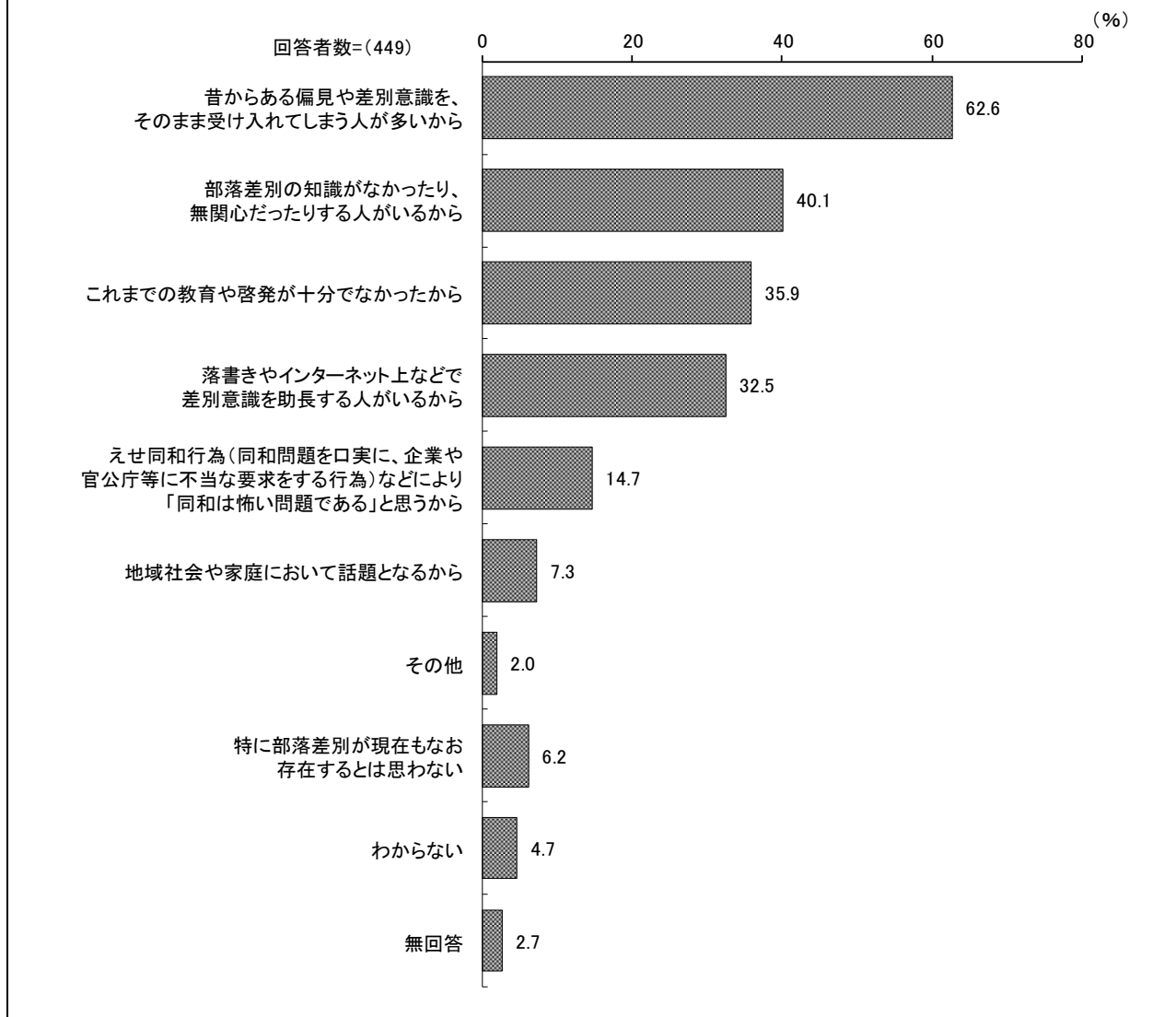
10 現在もなお、部落差別が存在する理由

(1) 単純集計

(問5で「1 知っている」「2 なんとなく知っている」とお答えの方に)

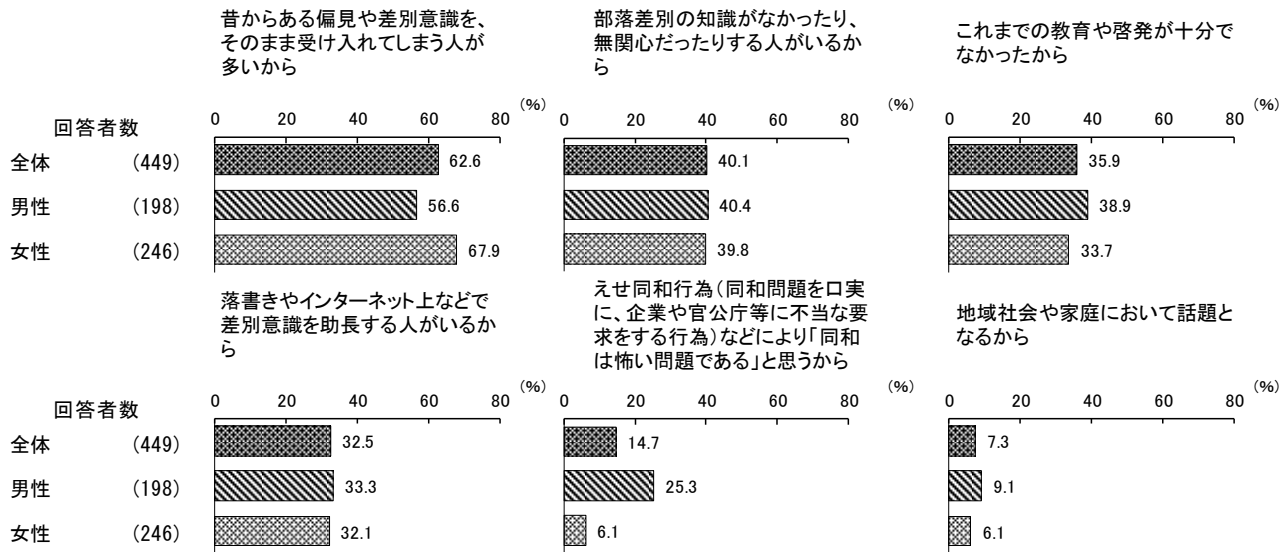
問5-3 あなたは、現在もなお、部落差別が存在するのはなぜだと思いますか

(○はあてはまるものすべて)。



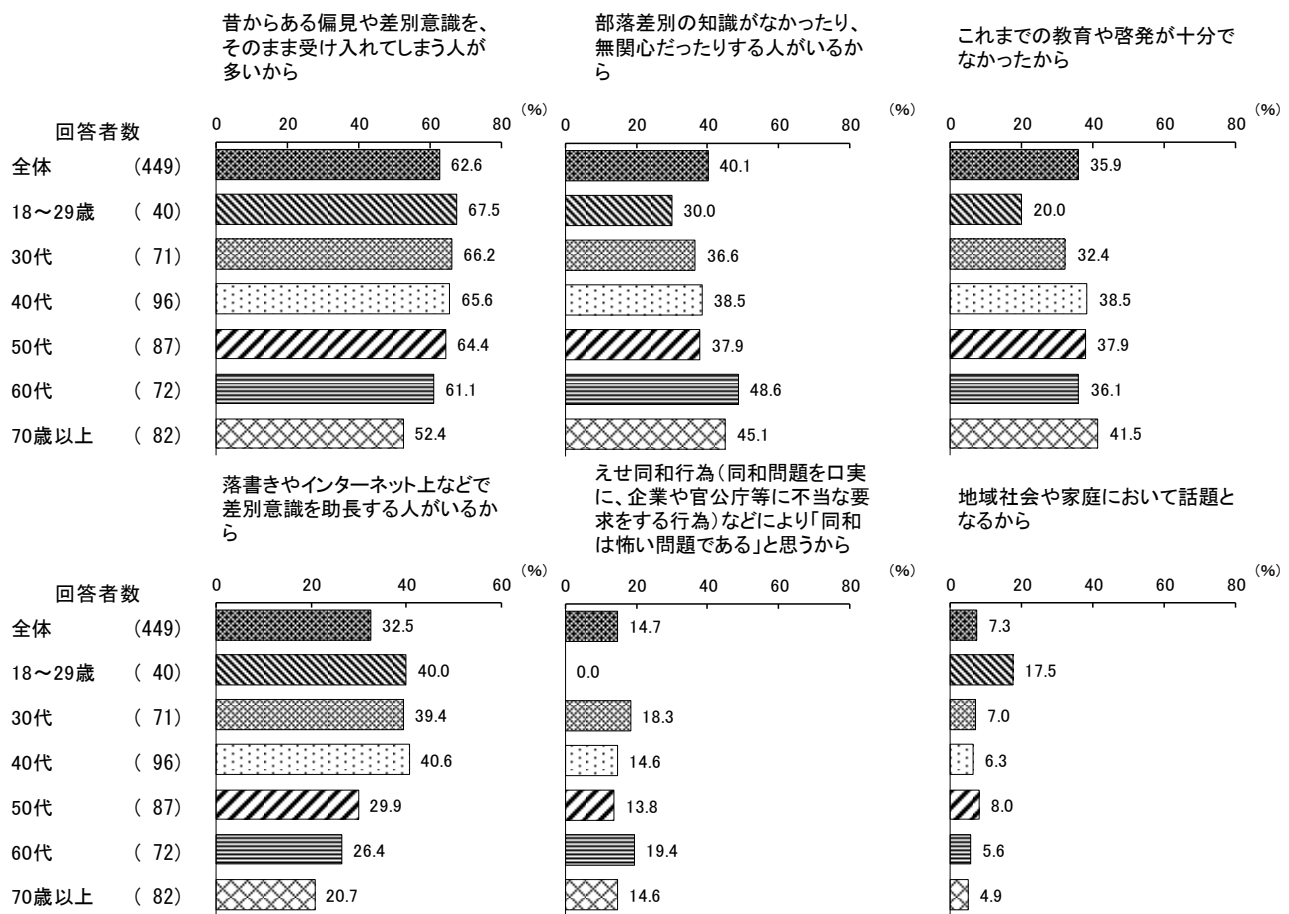
部落差別(同和问题)のことを「知っている」、「なんとなく知っている」とお答えの方に、現在もなお部落差別が存在する理由について聞いたところ、「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が62.6%で最も高く、次いで「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」(40.1%)、「これまでの教育や啓発が十分でなかったから」(35.9%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／現在もなお、部落差別が存在する理由（上位6項目）



性別でみると、「えせ同和行為（同和問題を口実に、企業や官公庁等に不当な要求をする行為）などにより『同和は怖い問題である』と思うから」は男性(25.3%)の方が女性(6.1%)より 19.2 ポイント高くなっています。「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」は女性(67.9%)の方が男性(56.6%)より 11.3 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／現在もなお、部落差別が存在する理由（上位6項目）

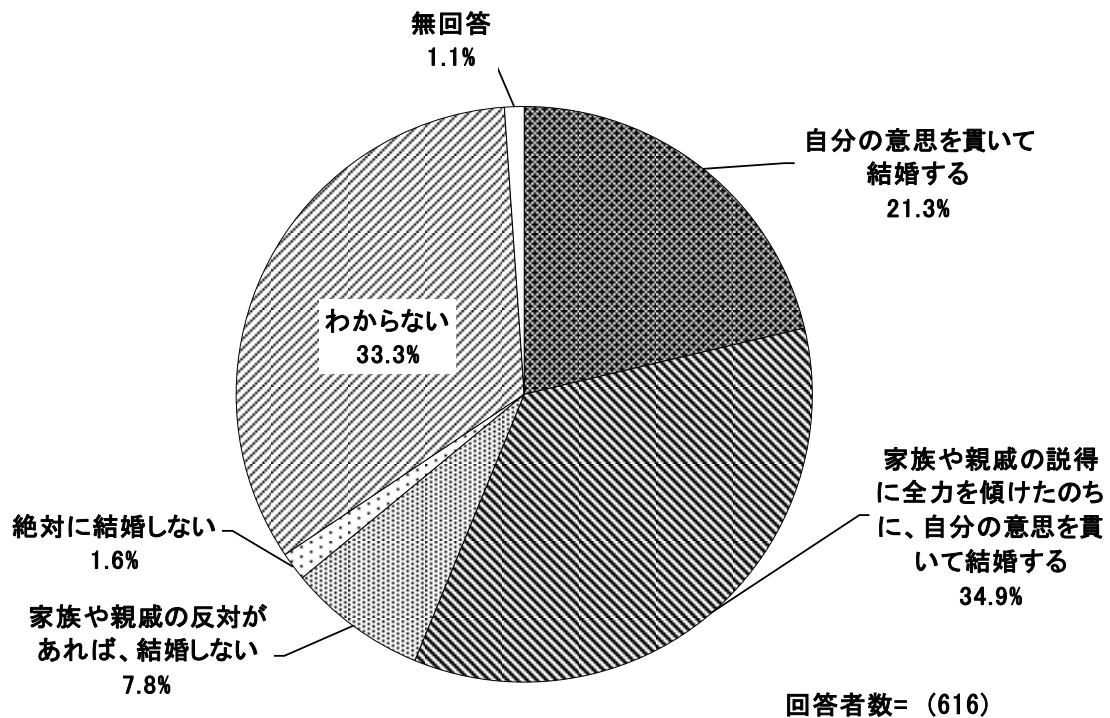


年代別でみると、いずれの年代でも「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が最も高くなっており、年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。次いで、「落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人があるから」は40代以下の年代で4割前後と高くなっています。

11 同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか

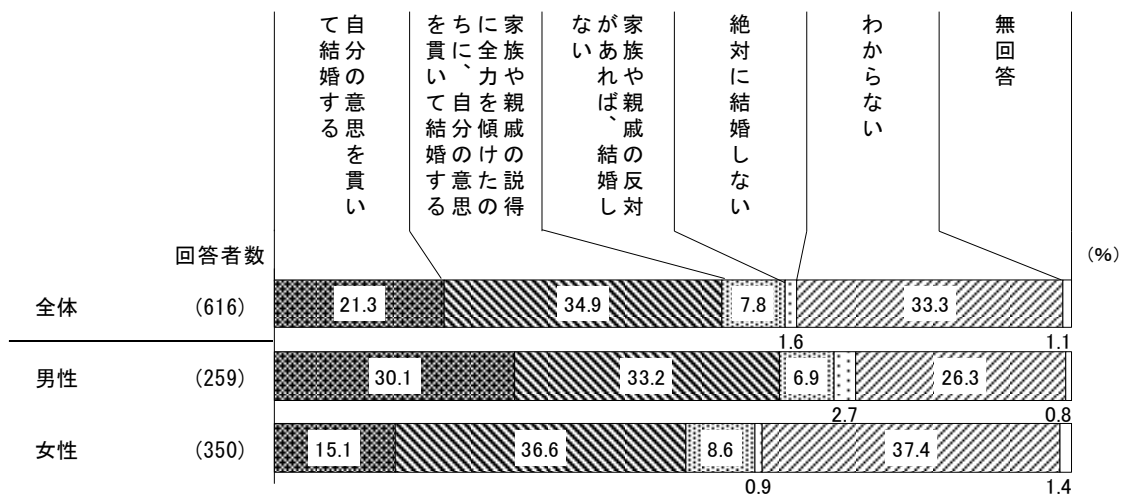
(1) 単純集計

問6 仮にあなたが同和地区の人と結婚しようとしたとき、家族や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか（○は1つだけ）。



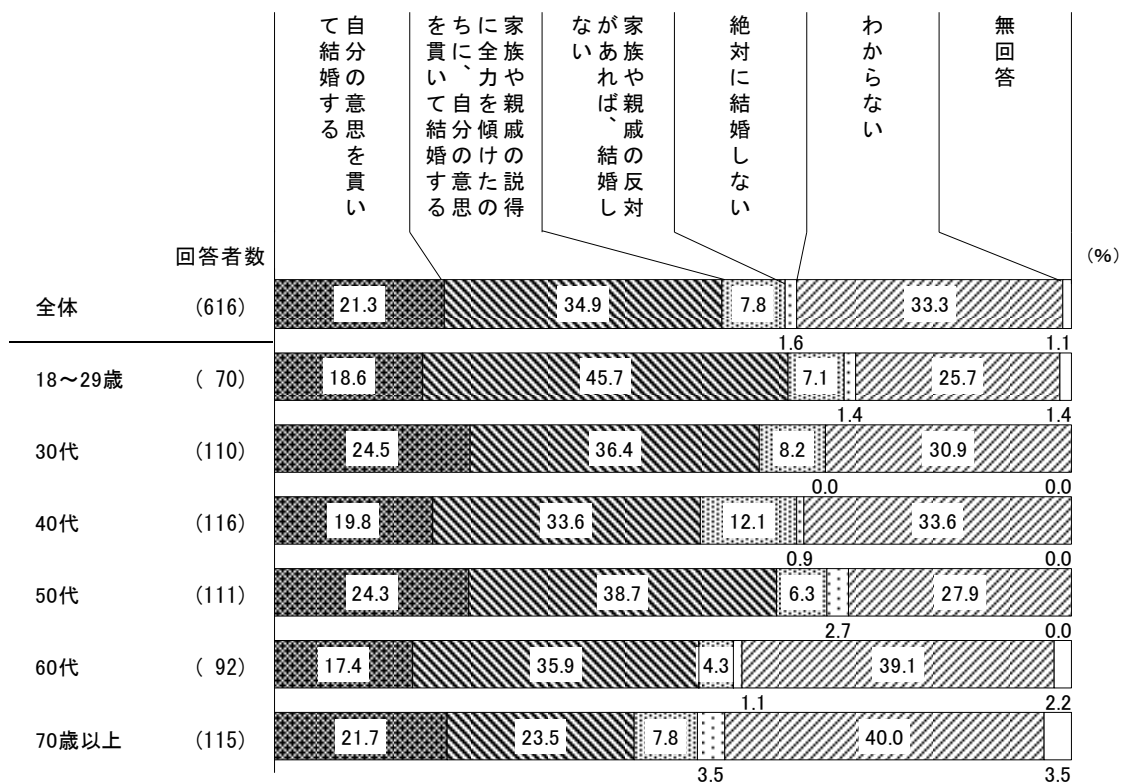
同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか聞いたところ、「家族や親戚の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が34.9%で最も高く、次いで「わからない」(33.3%)、「自分の意思を貫いて結婚する」(21.3%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか



性別でみると、「自分の意思を貫いて結婚する」は男性（30.1%）の方が女性（15.1%）より15.0ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／同和地区の人と結婚しようとしたとき、強い反対を受けたらどうするか

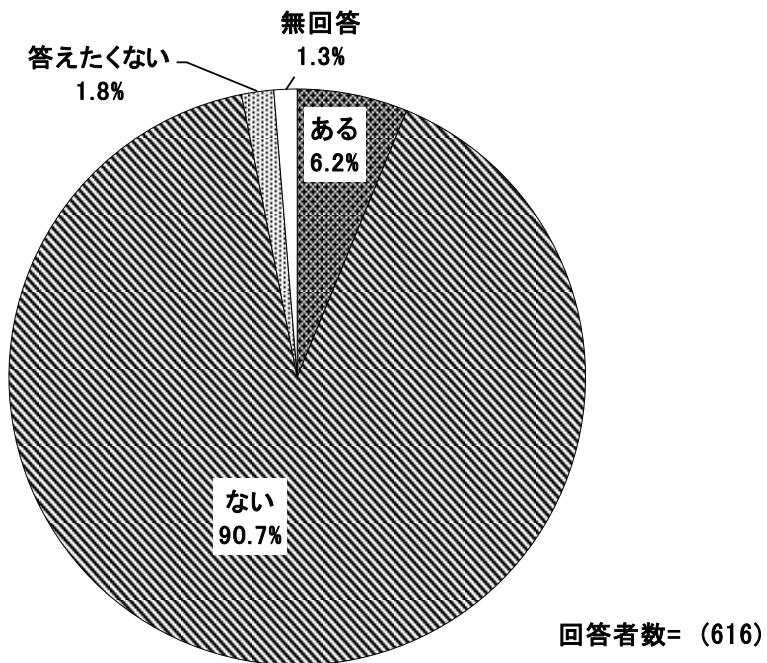


年代別でみると、18歳～50代では「家族や親戚の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高くなっており、18～29歳では45.7%と他の年代と比べて高くなっています。

12 インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無

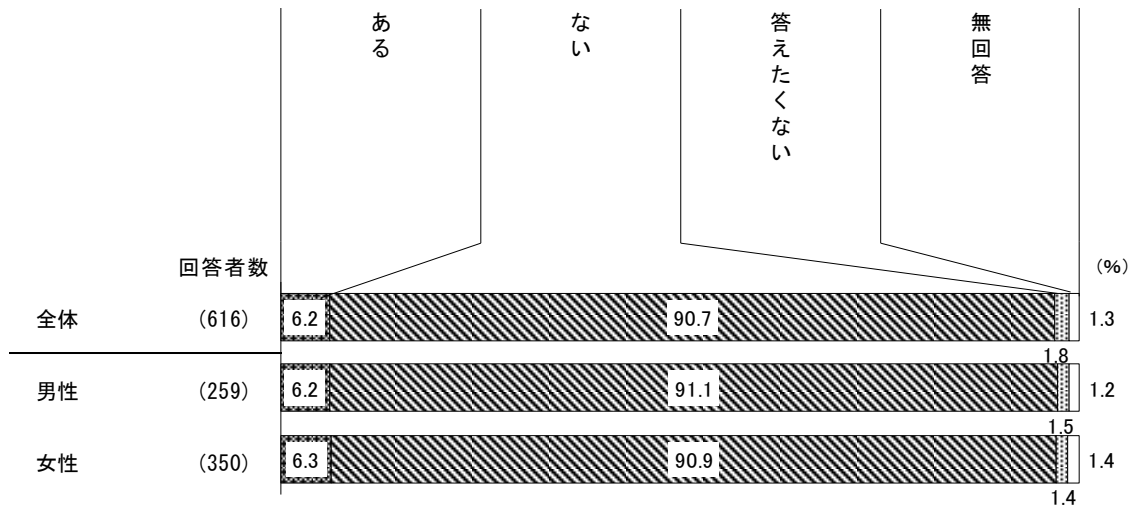
(1) 単純集計

問7 あなたは、インターネット上の人権侵害を受けたことがありますか
(○は1つだけ)。



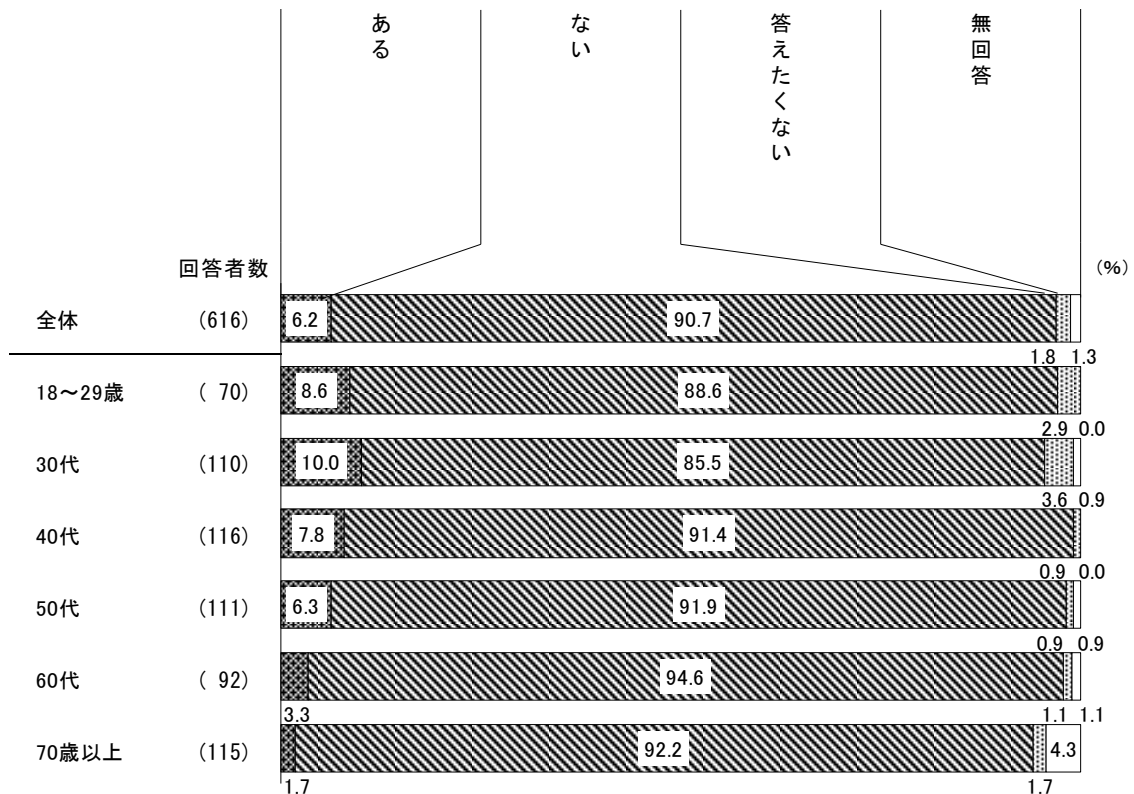
インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無について聞いたところ、「ある」が6.2%、「ない」が90.7%となっています。

(2) クロス集計・性別／インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無



性別でみると、男女ともに「ない」が9割を超えており、大きな差はみられませんでした。

(3) クロス集計・年代別／インターネット上の人権侵害を受けた経験の有無

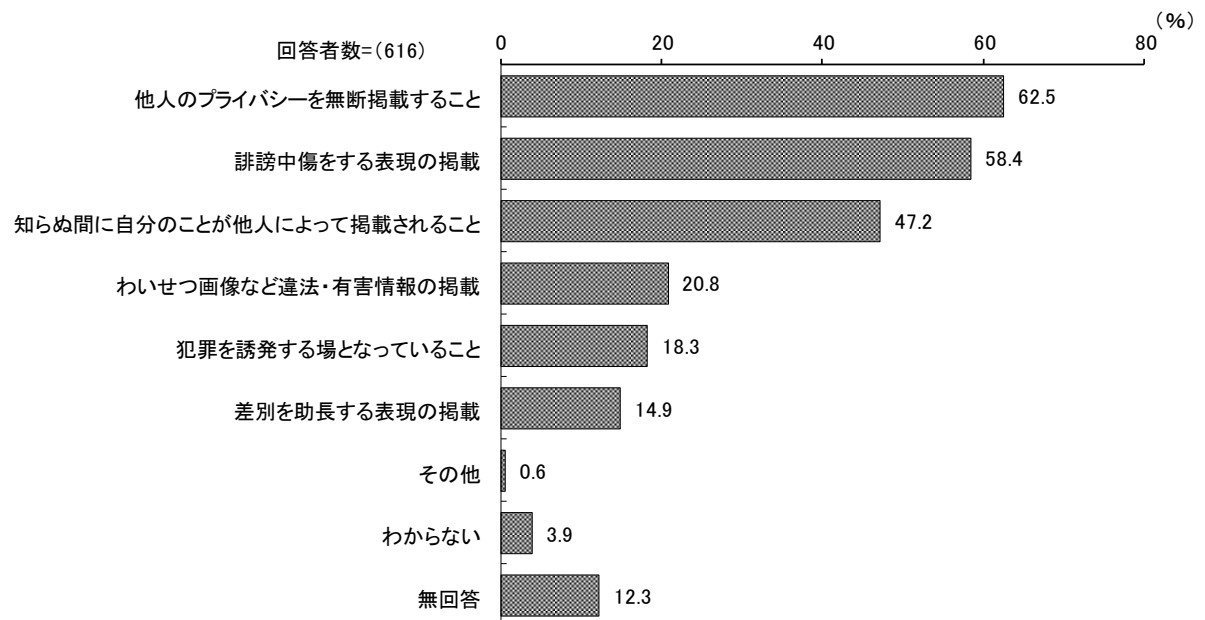


年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて「ある」の割合が低くなっています。

13 インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄

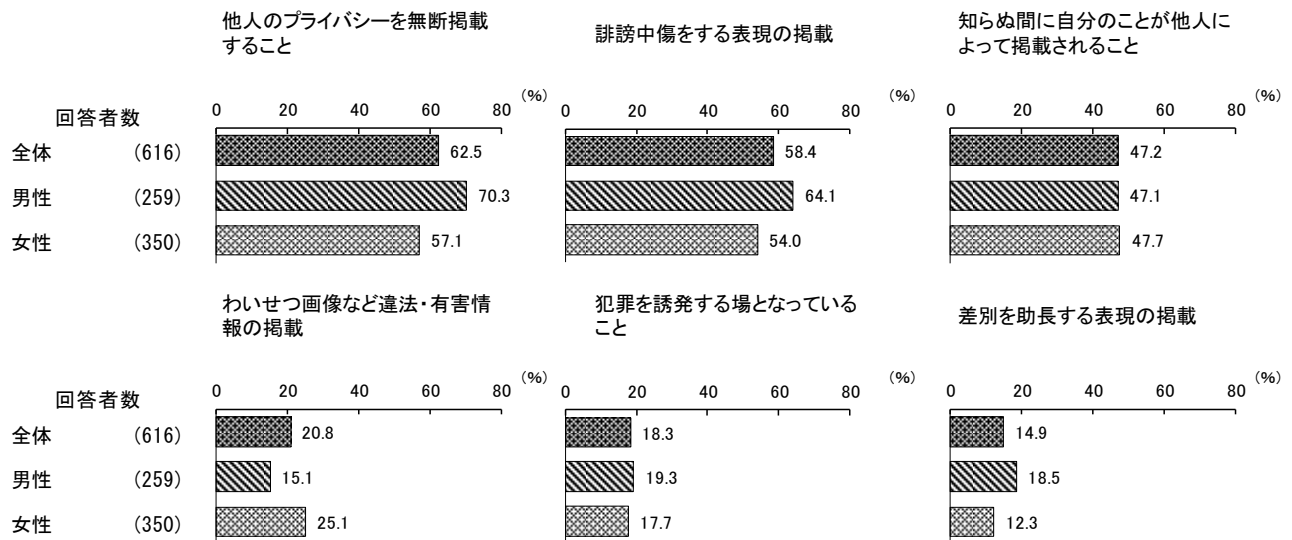
(1) 単純集計

問8 インターネット上の人権侵害に関する事柄で、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか（〇は3つまで）。



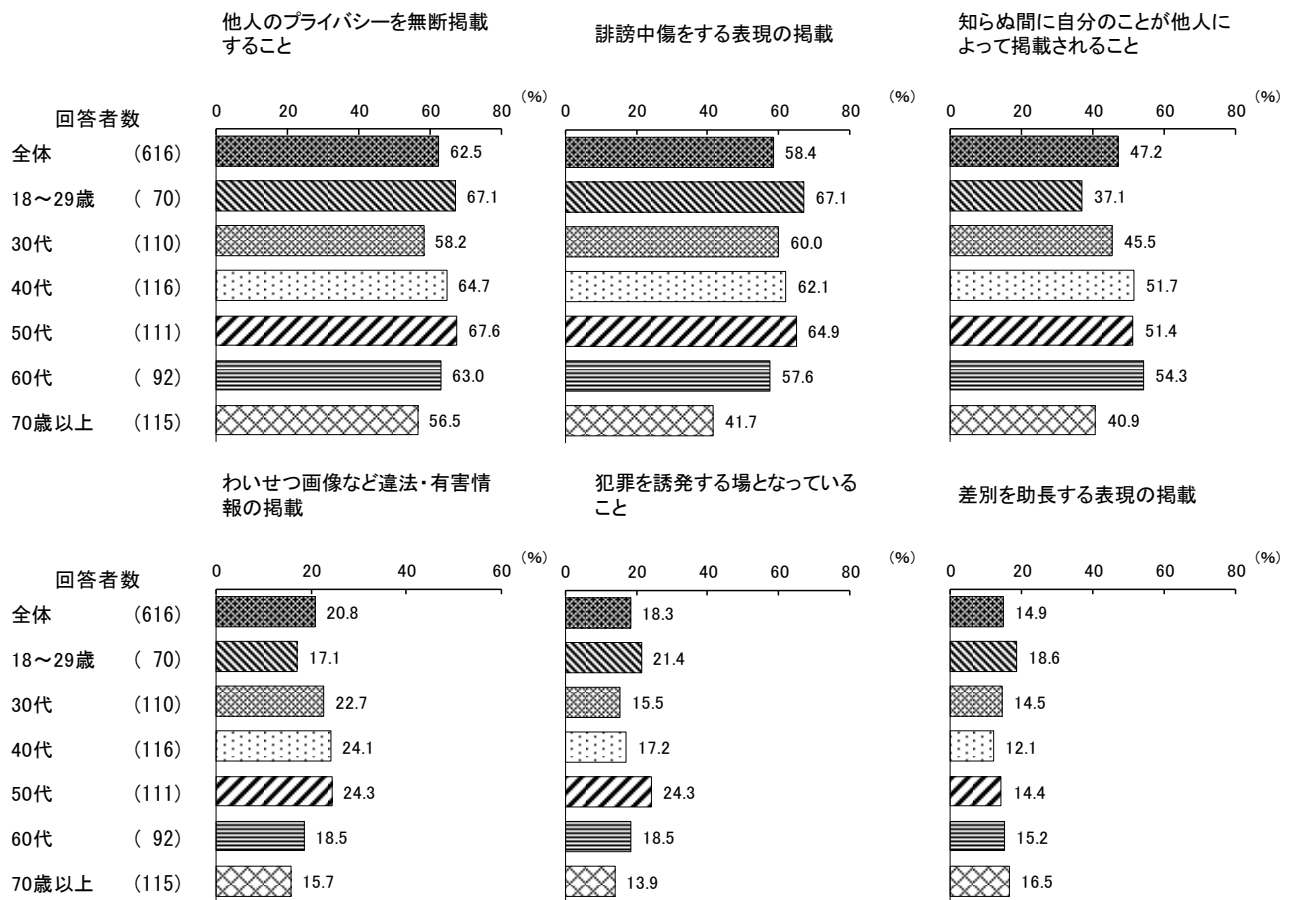
インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄について聞いたところ、「他人のプライバシーを無断掲載すること」が62.5%と最も高く、次いで「誹謗中傷をする表現の掲載」(58.4%)、「知らぬ間に自分のことが他人によって掲載されること」(47.2%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄（上位6項目）



性別でみると、「他人のプライバシーを無断掲載すること」は男性（70.3%）の方が女性（57.1%）より 13.2 ポイント高くなっています。「わいせつ画像など違法・有害情報の掲載」は女性（25.1%）の方が男性（15.1%）より 10.0 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／インターネット上の人権侵害で特に問題があると思う事柄（上位6項目）

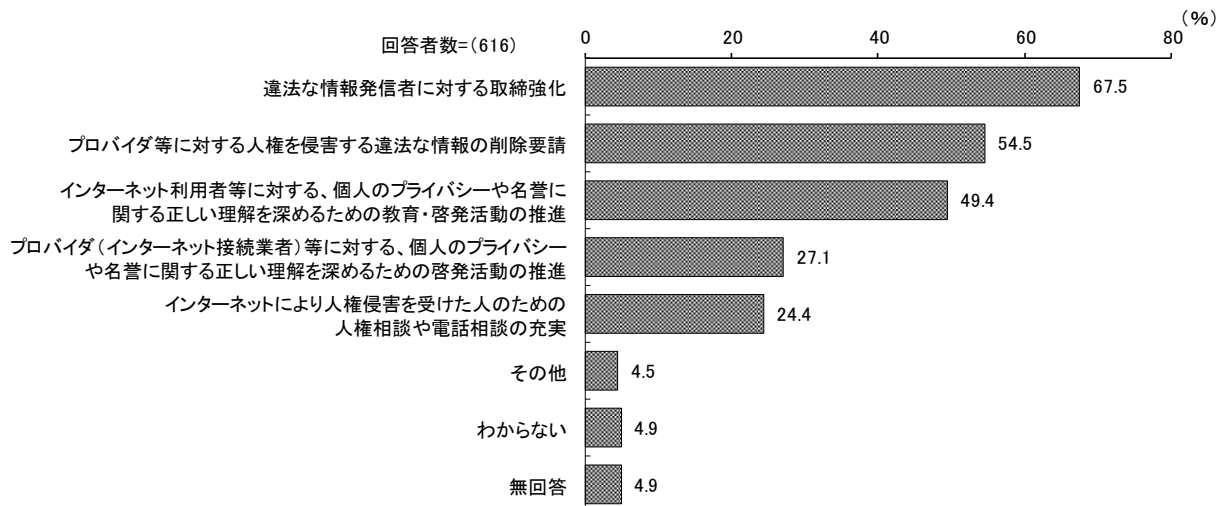


年代別でみると、30代を除くすべての年代で「他人のプライバシーを無断掲載すること」が最も高くなっており、50代で67.6%と他の年代と比べて高くなっています。

14 インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うこと

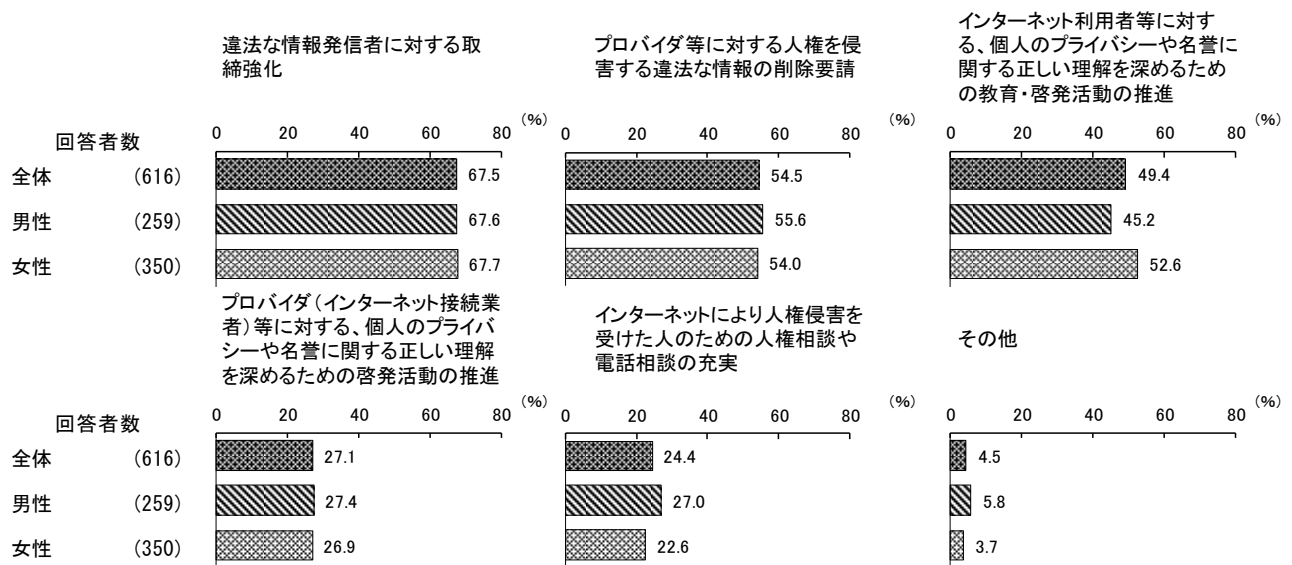
(1) 単純集計

問9 あなたは、インターネット上の人権侵害を解決するためにはどのようなことが有効だと思いますか（〇は3つまで）。

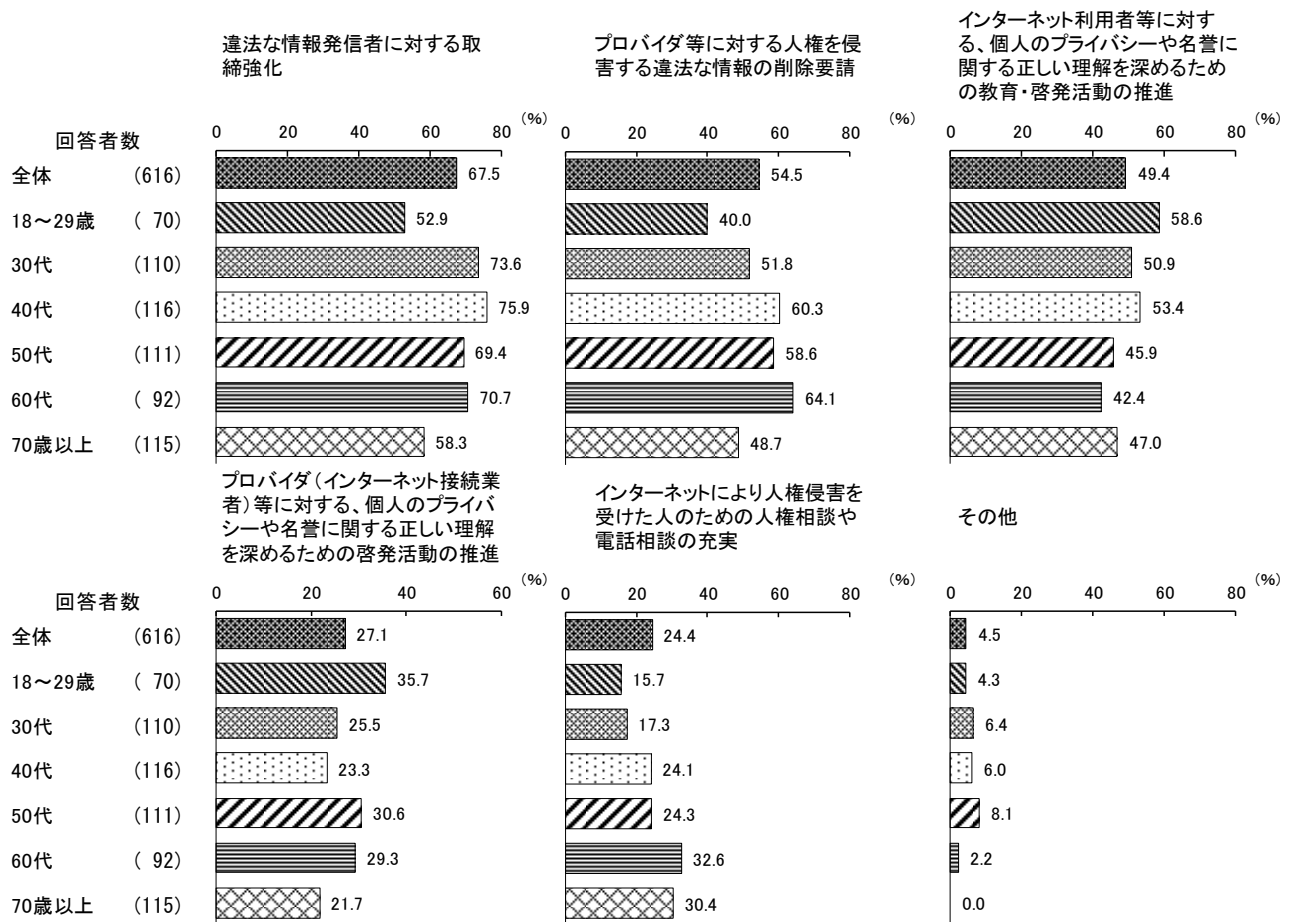


インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うことについて聞いたところ、「違法な情報発信者に対する取締強化」が67.5%と最も高く、次いで「プロバイダ等に対する人権を侵害する違法な情報の削除要請」(54.5%)、「インターネット利用者等に対する、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動の推進」(49.4%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うこと
(上位6項目)



性別でみると、「インターネット利用者等に対する、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動の推進」は女性(52.6%)の方が男性(45.2%)より7.4ポイント高くなっています。一方、「インターネットにより人権侵害を受けた人のための人権相談や電話相談の充実」は男性(27.0%)の方が女性(22.6%)より4.4ポイント高くなっています。

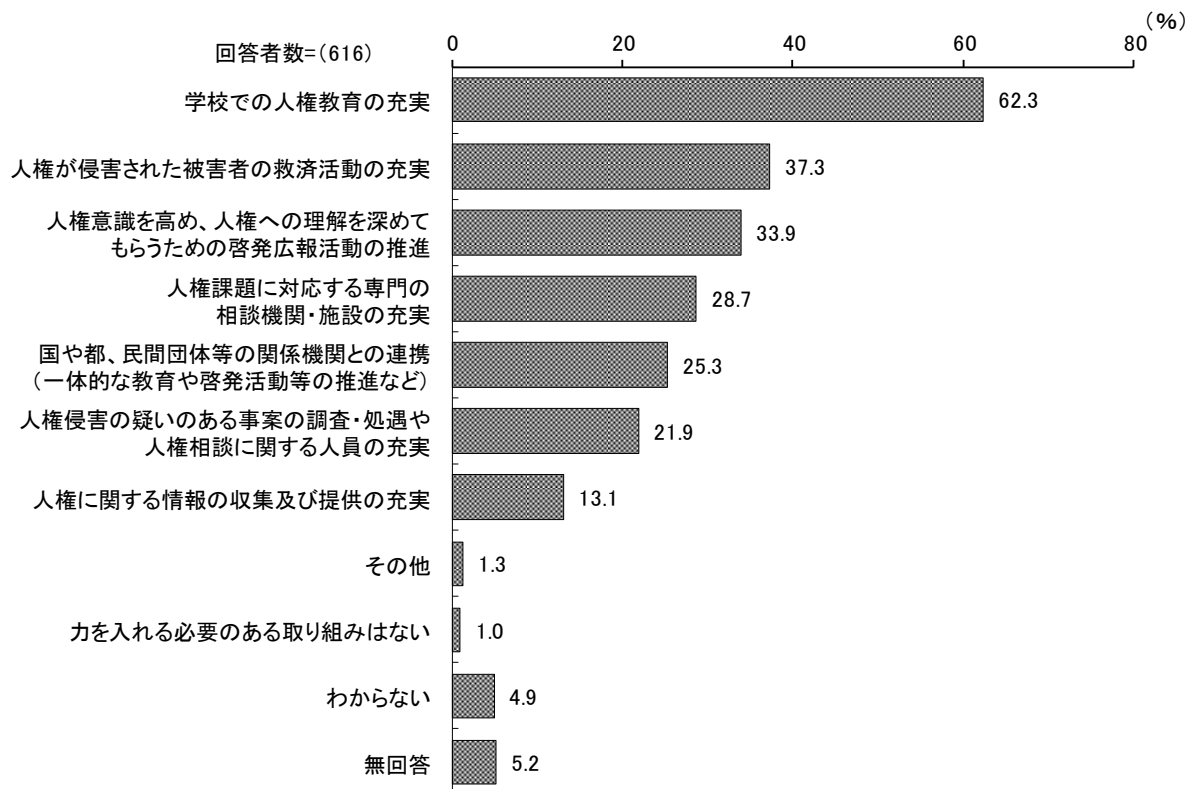
(3) クロス集計・年代別／インターネット上の人権侵害を解決するために有効だと思うこと
(上位6項目)

年代別でみると、18～29歳を除くすべての年代で「違法な情報発信者に対する取締強化」が最も高くなっています。

15 人権課題の解決に向けて注力すべき区取り組み

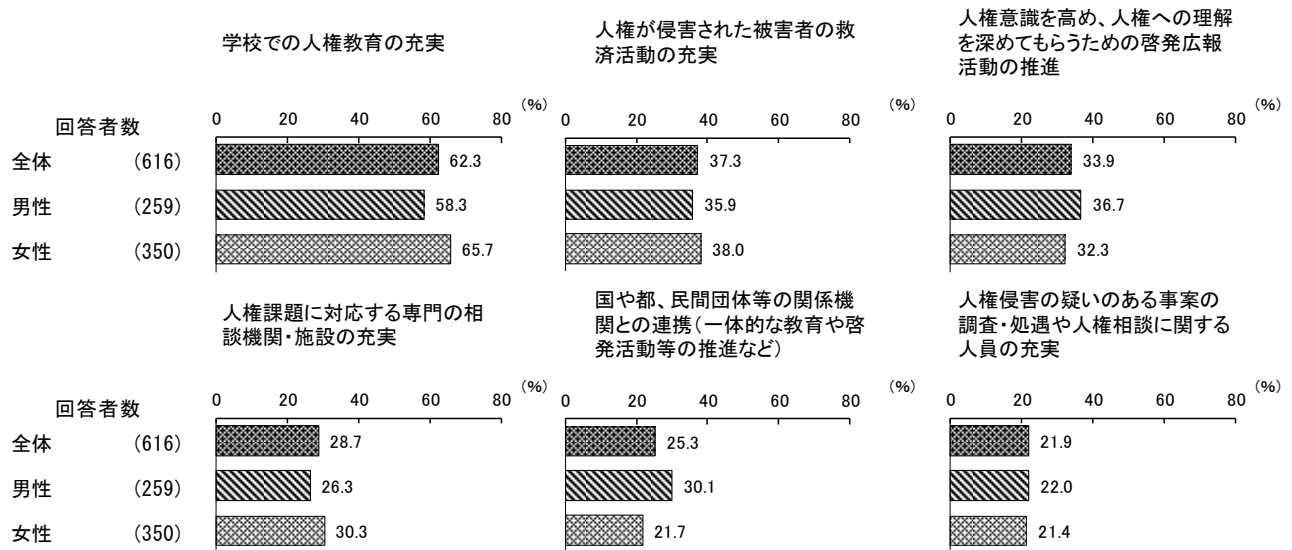
(1) 単純集計

問10 人権課題の解決に向けて、足立区はどのような取り組みに力を入れていけばよいと思いますか（〇は3つまで）。



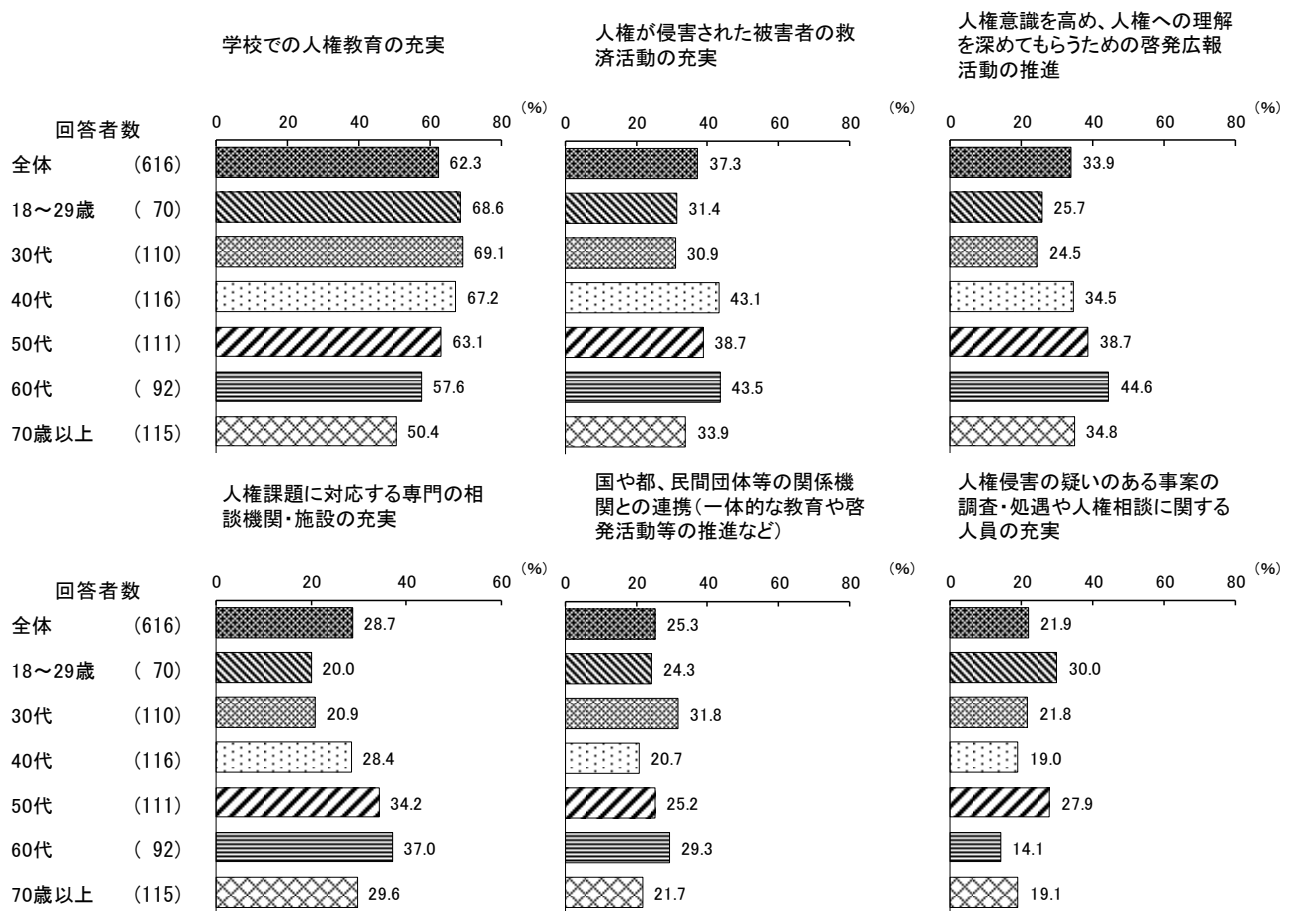
人権課題の解決に向けて、注力すべき区の取り組みについて聴いたところ、「学校での人権教育の充実」が62.3%で最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済活動の充実」(37.3%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進」(33.9%)の順となっています。

(2) クロス集計・性別／人権課題の解決に向けて注力すべき区取り組み（上位6項目）



性別でみると、「国や都、民間団体等の関係機関との連携（一体的な教育や啓発活動等の推進など）」は男性（30.1%）の方が女性（21.7%）より 8.4 ポイント高くなっています。「学校での人権教育の充実」は女性（65.7%）の方が男性（58.3%）より 7.4 ポイント高くなっています。

(3) クロス集計・年代別／人権課題の解決に向けて注力すべき区取り組み（上位6項目）



年代別でみると、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進」は60代で44.6%と最も高く、「学校での人権教育の充実」は70歳以上で50.4%と最も低くなっています。

16 人権問題に関することについてのご意見、ご要望

(1) 単純集計

問11 その他、人権問題に関することについてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

※147名より述べ165件の回答

人権課題の解決に向けた区の取り組みについて	60件
人権問題について	21件
インターネット上の人権侵害について	13件
部落差別（同和問題）について	8件
その他	39件
このアンケートについて	12件
特になし	12件

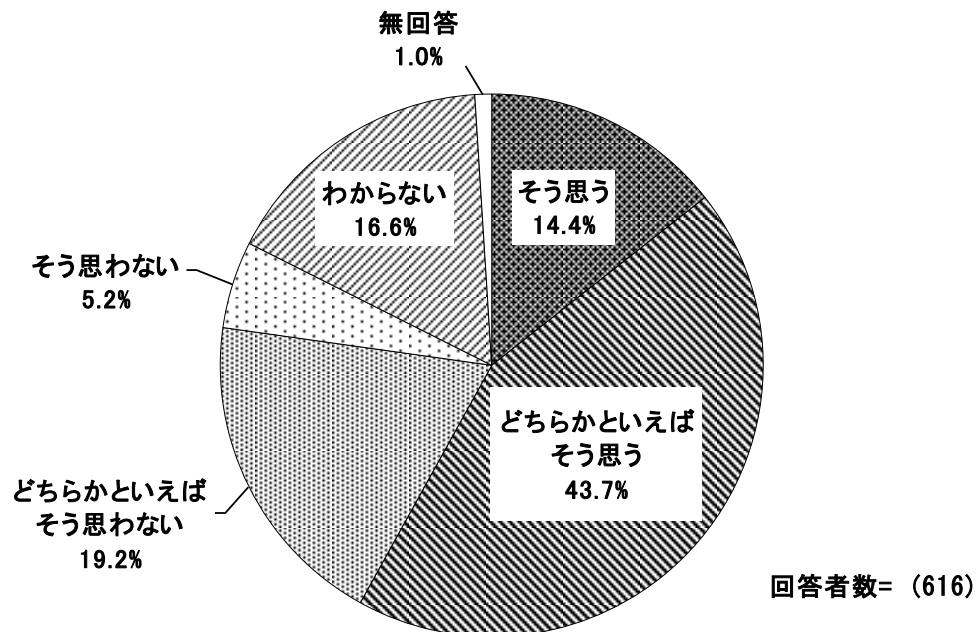
その他、人権問題に関することについてのご意見、ご要望を自由記述で聞いたところ、147名から延べ165件のご意見をいただきました。

ご意見を内容別に分類したところ、「人権課題の解決に向けた区の取り組みについて」が60件で最も多く、次いで「人権問題について」（21件）、「インターネット上の人権侵害について」（13件）、「部落差別（同和問題）について」（8件）などとなっています。

17 アンケートの実施が人権課題の把握及び人権問題の解決につながるかの考え

(1) 単純集計

問12 多数の質問にお答えいただきありがとうございました。最後におうかがいします。あなたは、今回のアンケートを実施することで、人権課題の把握及び人権問題の解決につながると考えられますか（○は1つだけ）。



今回のアンケートを実施することで人権課題の把握及び人権問題の解決につながると思うかについて聴いたところ、「どちらかといえばそう思う」が 43.7%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.2%となっています。

第4章 使用した調査票

令和7年度 第1回 足立区政に関する世論調査（小規模調査） 《人権問題について》

ご協力のお願い

皆さまには日頃から区政にご支援ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

足立区では、令和4年に改定した「足立区人権推進指針」に基づき、人権問題の解決に向けた取り組みを進めています。近年は、インターネット上での人権侵害や、ヘイトスピーチなど人権問題が多様化しています。このアンケートにより、区民の皆さまが日頃感じている人権課題を把握し、今後の人権施策に反映していきたいと考えております。

実施にあたりまして、足立区にお住いの18歳以上の方々から無作為に1,000名を選ばせていただきました。調査結果はすべて個人が特定できないように統計的に処理し、お名前などが公表されることは一切ありません。

回答にかかる時間は約15分です。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

足立区長 近藤やよい

□□ ご回答にあたって □□

- 1 調査の回答は、あて名のご本人がお答えください。
- 2 質問によっては、○印は（○は1つだけ）や（○はあてはまるものすべて）というように数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをお読みください。
- 3 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- 4 回答は、《インターネット》または《郵送》のいずれかの方法でお願いいたします。ご回答いただいた方には謝礼として、**500円のQUOカード**をお送りします。

5 本調査に関するお問い合わせ先

お問い合わせコールあだち TEL：03-3880-0039

受付時間：午前8時～午後8時／1月1日から3日を除く毎日

ご回答期限：令和7年11月26日

あなたの回答用ID

インターネットによる回答をされる場合、IDを入れ間違えてしまいますと、謝礼をお送りすることができなくなりますので、必ず入力後に確認をお願いします。



インターネットによる回答方法



- 1 下記 URL または二次元コードを読み込んで、「足立区オンライン申請システム」の回答専用ページにアクセスしてください。

<https://shinsei.city.adachi.tokyo.jp/apply/guide/4059>

※ パソコンから URL を入力して検索する場合、Yahoo!や Google 等の検索バーではなく、ブラウザのアドレスバーに URL を直接入力してください。

- 2 ログインし、順番に回答してください。

(1) 「足立区オンライン申請システム」のログインページが展開します。

(2) アカウントIDをお持ちの方はログインして回答してください。

(3) アカウントIDをお持ちでない方は、「アカウント登録をしてから申請を続ける」または「アカウント登録をしないで申請を続ける」をクリックしてログインしてください。

- 3 回答終了

すべての回答が終わりましたら、「内容を確認する」をクリックし、入力内容を確認してください。確認終了後「申請完了」をクリックしてください。これで終了となります。

■ 注意事項 ■

(1) 回答は途中保存が可能です。中断される場合は「保存して後で申請する」をクリックし、再開する場合は、途中保存をした際に届いたメールに添付されているURLから回答フォームへログインしてください。

(2) 回答中にブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

(3) 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

(4) インターネットで回答された方は、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

郵送による回答方法

- 1 調査票に直接回答してください。

(1) あてはまる番号に直接○印を付けてください。

(2) ボールペン記載で誤った場合、二重線で消し、正しい回答に○を付けてください。

- 2 調査票を郵送してください。

回答が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れて、令和7年11月26日までに投函してください。期日を過ぎてから投函いただいた場合、謝礼をお送りすることはできません。何卒ご了承ください。

■ 注意事項 ■

返信用封筒には、住所・お名前を記入なさらないようお願いします。

これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

F 1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝616）

1 男 性	42.0%	4 答えたくない	0.6
2 女 性	56.8	無回答	0.5
3 どちらでもない	-		

F 2 あなたの年代は、次のどれにあたりますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝616）

1 10代	1.8%	4 40代	18.8	7 70代以上	18.7
2 20代	9.6	5 50代	18.0	無回答	0.3
3 30代	17.9	6 60代	14.9		

F 3 あなたは、足立区に住んで何年になりますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝616）

1 1年未満	3.1%	4 5～10年未満	11.0	無回答	0.5
2 1～3年未満	7.8	5 10～20年未満	17.2		
3 3～5年未満	4.9	6 20年以上	55.5		

F 4 あなたの職業は、次のどれにあたりますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝616）

1 自営業・会社役員等	11.7%	5 主に家事に従事	10.6
2 会社員・公務員等	39.4	6 無職	15.4
3 パート・アルバイト	16.9	7 その他（ ）	1.9
4 学生	3.4	無回答	0.6

（F 4で「1」「2」「3」「4」とお答えの方に）

F 4-1 あなたの就労場所（就学場所）は、次のどれにあたりますか

（〇は1つだけ）。（回答者数＝440）

1 自宅	8.6%	5 茨城、神奈川、埼玉、千葉	9.1
2 足立区内	28.9	6 その他	1.6
3 足立区以外の東京22区	49.3	（ ）	
4 23区以外の東京	2.3	無回答	0.2

F5 あなたを含め、同居の家族の人数は何人ですか（〇は1つだけ）。

（回答者数＝616）

1	ひとり暮らし	16.7%	4	4人	20.1	無回答	2.1
2	2人	33.8	5	5人	3.7		
3	3人	21.3	6	6人以上	2.3		

（F5で「1 ひとり暮らし」以外とお答えの方に）

F5-1 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか

（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝500）

1	配偶者	74.2%	4	子ども	49.6	7	その他	2.2
2	父・母	19.4	5	孫	1.2	（	）	
3	祖父・祖母	0.6	6	兄弟・姉妹	8.4	無回答		2.2

（F5-1で「4 子ども」とお答えの方に）

F5-2 末子のお子さんの年代は、次のどれにあたりますか（〇は1つだけ）。

（回答者数＝248）

1	小学校入学前（	歳）	27.8%	4	高校生	8.1
2	小学生		19.8	5	大学生以上	35.9
3	中学生		8.1	無回答		0.4

人権問題について

問1 あなたは、日常の中で、人権が守られている社会だと思いますか（〇は1つだけ）。
（回答者数＝616）

1 十分守られている	23.1%	4 全然守られていない	1.9
2 十分ではないが守られている	52.9	5 わからない	5.4
3 あまり守られていない	15.4	無回答	1.3

問2 あなたは、どのような人権問題に関心がありますか（〇はあてはまるものすべて）。
（回答者数＝616）

1 女性	45.3%
2 こども	41.2
3 高齢者	33.3
4 障がいのある人	45.1
5 部落差別（同和問題）	10.4
6 アイヌの人々	8.1
7 外国人	24.4
8 HIV や肝炎、新型コロナウイルス感染症などの感染者、 医療従事者やその家族	13.5
9 ハンセン病患者・元患者やその家族	7.5
10 刑を終えて出所した人やその家族	9.9
11 犯罪被害者及びその家族	19.6
12 インターネット上の人権侵害	48.7
13 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族	13.8
14 ホームレス	8.8
15 LGBTQ などの性的マイノリティ	19.5
16 人身取引	11.9
17 風評に基づく偏見や差別など、災害に伴う人権侵害	26.9
18 ゲノム情報（遺伝情報）に関する偏見や差別	4.7
19 その他（ ）	1.3
20 特になし	6.2
無回答	1.1

問3 新聞やテレビなどで、「人権問題」や「人権が侵害された」というニュースが報道されることがあります。あなたは、この5～6年の間に、日本において、人権が侵害されるようなことは、それ以前に比べて、少なくなってきたと思いますか、それとも、多くなってきたと思いますか（○は1つだけ）。（回答者数＝616）

1	少なくなってきた	14.4%	3	多くなってきた	38.6	無回答	0.5
2	あまり変わらない	31.7	4	わからない	14.8		

問4 あなたは、これまでに、ご自身の人権が侵害されたと思ったことがありますか（○は1つだけ）。（回答者数＝616）

1	ある	26.3%	3	答えたくない	5.0
2	ない	68.7		無回答	-

（問4で「1 ある」とお答えの方に）

問4-1 それは、どのような場合でしたか。差支えなければお知らせください

（○はあてはまるものすべて）。（回答者数＝162）

1	あらぬ噂や他人からの悪口、かげ口	44.4%
2	名誉・信用のき損、侮辱	21.6
3	差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等または不利益な取扱いをされた）	24.1
4	悪臭・騒音等の被害	17.9
5	社会的地位、慣習などにより、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害されたりしたなどの強要、暴力や脅迫	14.8
6	学校でのいじめ	29.0
7	地域社会での嫌がらせ	8.0
8	職場での嫌がらせ	31.5
9	プライバシーの侵害	14.2
10	使用者（雇用者や上司など）による時間外労働の強制などの不当な待遇	15.4
11	警察官などの公務員からの不当な取扱い	7.4
12	セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	14.2
13	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力など）	7.4
14	児童虐待	4.9
15	社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	3.7
16	その他（	8.0
17	答えたくない	4.9
	無回答	-

(問4で「1 ある」とお答えの方に)

問4-2 あなたは、その人権侵害に対して、どのように対応されましたか
(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=162)

1 黙って我慢した	62.3%	5 弁護士に相談した	6.2
2 身近な人に相談した	39.5	6 その他	6.8
3 相手に対して具体的な抗議をした	19.8	()	
4 公的機関に相談した	11.7	無回答	-

部落差別（同和問題）について

問5 あなたは、部落差別（同和問題）のことを知っていますか（〇は1つだけ）。
(回答者数=616)

1 知っている	32.6%	3 知らない	26.6
2 なんとなく知っている	40.3	無回答	0.5

(問5で「1 知っている」「2 なんとなく知っている」とお答えの方に)

問5-1 初めて知ったきっかけをお知らせください（〇は1つだけ）。(回答者数=449)

1 家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	14.7%
2 親戚の人から聞いた	0.4
3 近所の人から聞いた	0.7
4 職場の人から聞いた	6.0
5 友達から聞いた	3.6
6 学校の授業で教わった	29.8
7 テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	17.1
8 インターネット等で知った	8.0
9 部落差別（同和問題）に関する集会や研修会で知った	2.0
10 都や区の広報紙や冊子などで知った	3.1
11 その他（)	1.1
12 きっかけは覚えていない	8.9
無回答	4.5

(問5で「1 知っている」「2 なんとなく知っている」とお答えの方に)

問5-2 あなたは、部落差別（同和問題）に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝449）

1 交際や結婚問題で周囲の反対を受けること	45.4%
2 就職・職場で不利な扱いを受けること	38.8
3 差別的な言動をされること	39.2
4 差別的な落書きや貼り紙などをされること	12.5
5 身元調査をされること	22.5
6 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	25.2
7 えせ同和行為（同和問題を口実に、企業や官公庁等に不当な要求をする行為）が行われること	16.5
8 その他（ ）	0.4
9 同和問題に関して、特に人権問題が起きているとは思わない	8.7
10 わからない	15.8
無回答	0.9

(問5で「1 知っている」「2 なんとなく知っている」とお答えの方に)

問5-3 あなたは、現在もなお、部落差別が存在するのはなぜだと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝449）

1 部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから	40.1%
2 落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから	32.5
3 これまでの教育や啓発が十分でなかったから	35.9
4 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから	62.6
5 えせ同和行為（同和問題を口実に、企業や官公庁等に不当な要求をする行為）などにより「同和は怖い問題である」と思うから	14.7
6 地域社会や家庭において話題となるから	7.3
7 その他（ ）	2.0
8 特に部落差別が現在もなお存在するとは思わない	6.2
9 わからない	4.7
無回答	2.7

問9 あなたは、インターネット上の人権侵害を解決するためにはどのようなことが有効だと思いますか（〇は3つまで）。（回答者数＝616）

1	インターネット利用者等に対する、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動の推進	49.4%
2	プロバイダ（インターネット接続業者）等に対する、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための啓発活動の推進	27.1
3	インターネットにより人権侵害を受けた人のための人権相談や電話相談の充実	24.4
4	プロバイダ等に対する人権を侵害する違法な情報の削除要請	54.5
5	違法な情報発信者に対する取締強化	67.5
6	その他（ ）	4.5
7	わからない	4.9
	無回答	4.9

人権課題の解決に向けた区の取り組みについて

問10 人権課題の解決に向けて、足立区はどのような取り組みに力を入れていけばよいと思いますか（〇は3つまで）。（回答者数＝616）

1	人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進	33.9%
2	学校での人権教育の充実	62.3
3	人権課題に対応する専門の相談機関・施設の充実	28.7
4	人権が侵害された被害者の救済活動の充実	37.3
5	人権に関する情報の収集及び提供の充実	13.1
6	人権侵害の疑いのある事案の調査・処遇や人権相談に関する人員の充実	21.9
7	国や都、民間団体等の関係機関との連携（一体的な教育や啓発活動等の推進など）	25.3
8	その他（ ）	1.3
9	力を入れる必要のある取り組みはない	1.0
10	わからない	4.9
	無回答	5.2

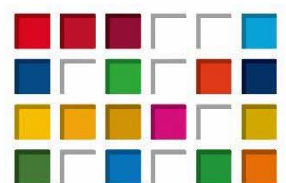
問11 その他、人権問題に関することについてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問12 多数の質問にお答えいただきありがとうございました。最後におうかがいします。
あなたは、今回のアンケートを実施することで、人権課題の把握及び人権問題の解決につながると思われますか（○は1つだけ）。（回答者数＝616）

1	そう思う	14.4%	4	そう思わない	5.2
2	どちらかといえばそう思う	43.7	(理由:)		
3	どちらかといえばそう思わない	19.2	5	わからない	16.6
				無回答	1.0

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI